

中京広域都市圏の地域構造(第1報)

伊 藤 郷 平

Areal Structure of Chūkyō Metropolitan Region (Part 1)

Gōhei ITO

序

この報文は、中京広域都市圏の地域構造に関する研究の一部で、引きつづき公表する数篇の論文の第1報をなすものである。

第1報では問題を限定して「圏域の確定」と「Location Quotientの分析」にしばり、第2報以下の研究のいとぐちともし、基盤的要素ともしする。

このテーマは、筆者の15年前からの研究課題であるが、複雑で且つ広域に亘るもので、単独研究よりも総合的共同研究が適しているテーマと考える。したがって本研究も愛知・岐阜・三重ほか関係県の大学関係、教育委員会の協力・援助によって進められた。第1報はとくに三重大学伊藤達雄助教授に負うところが大きい。

調査費は、昭和35年以来筆者が受けている文部省科研費と愛知県企画課依託調査費が使われた。

ここに記して深謝の意を表するものである。次号には、東海3県の大学地理学教室、教育委員会の協力によって調査した「都市圏の画定と性格分析」を公表する予定である。

第1章 中京広域都市圏の範囲

第1節 巨大広域都市圏とは何か

百万都市の都市依存圏(通勤、買回品依存圏)の中にある若干の都市が分業的機能をもちつつ、中心都市と機能的結合関係を有する地域で、全体として一つの地域的・社会的統一体を形成する巨大都市圏(Metropolitan Region)をここでは巨大広域都市圏ということにする。したがってそれは幾つかの都市圏の連合体である。その中心都市はいわゆる百万都市であり、それと機能的結合関係にある個々の都市は衛星都市(Satellite City)といわれるものである。日本では首都圏の一部と阪神圏にその典型的事例が見られ、名古屋市(人口約200万)を中心都市とする中京地方にも、漸次これが形成されつつあるが、果して中京広域都市圏は存在するものであろうか。

巨大広域都市圏の地域構造の解明については、まずその範囲決定がなされる必要がある。その作業の一として次の方法を選んだ。

まず、その中京地方(名古屋市中心半径約60km圏)の市町村別人口増減率(1955~60年)をしらべ、増加率プラスとなる地域とマイナスとなる地域の境界を決定した。これ

は都市地域と農村地域を分離する境が、人口の増加率に現われるものとの前提による。

次に中心都市(名古屋市)への就業依存率(1960年)2%をもって圏域の限界線とした。

すなわち、名古屋市に接続または近接する市町村で、①人口増加率がプラスの値をもち、②就業依存率+2%の場合は中京広域都市圏に包含させることとした。

なお、第2編に詳論する都市依存率による都市圏パターンとの関係についても併せ論ずることとし、それら都市圏の重積の状況を吟味した。(次号第2報参照)

第2節 人口増加率からみた

中京広域都市圏

1 中京地方の人口増加および減少地域の分析

人口現象は経済的、社会的、地理的現象の総和を示す指標といわれる。その繁栄地域には人口増加が、逆の場合には減少が現われるのが一般である。現代の経済機構においては、都市的地域が増加し、農村的地域が一般に減少する要因を内包しているからである。地域的には第2、第3次産業の比重の高い太平洋ベルト地帯と瀬戸内地帯に人口激増地帯が、その他の東北、日本海沿岸、南海地方に人口激減地帯が現出して地域的格差を大にしている。とくに激増をつづけるのは京浜・中京・阪神の3巨大広域都市圏といわれる地域であることもすでに各界専門家によって明らかにされているところである。中京広域都市圏といわれる地域においてもこれを確認することが出来、したがって範囲決定の有力な指標と考えられるのである。

わが国において、1955~60年の5カ年間における人口増加率0.1%以上の市町村が地域的に連続して、中心都市を中心として半径30km以上に分布している地域は僅かに3地区に過ぎない。それが前述の京浜・中京・阪神の3地域で、都市学の名付けるメトロポリタンリージョン(Metropolitan Region)で、ここでいう巨大広域都市圏の形成されつつある地域である。その30kmを超えた外周は多くは人口流出地域となっていて増加率マイナスの市町村であることも共通している。ただ京浜の場合はやや遠く、中京の場合は地区によってやや近くなっているだけの相違である。

中京地方(愛知、岐阜、三重)について国勢調査結果により1955~60年の人口増加率を求めて図化したものが第1-1図である。

増加率の高いのは名古屋市およびその周辺の隣接町村で、この隣接町村は2〜3の例外を除けば20%以上の高い比率を示している。すなわち、旧鳴海町(28%)、豊明町(26%)、大府町(21%)、旧守山市(29%)、旭町(36%)、西枇杷島町(32%)、清洲町(29%)等である。いずれも最近名古屋市に合併した地区が隣接する町村で、名古屋市から溢流した人口と市内に居住しようとしてできなくて外域からこの地方に流入し、滞留しているところの人口である。岐阜県下ではこのグループに入るのはわずかに各務原市那加地区(26%)と笠原町(55.8%)だけである。三重県下では20%以上の高い増加率をもつ市町村は皆無である。要するに名古屋市は極く近くの限られた地帯が圏状に人口激増地区を形成するだけで名古屋市から遠ざかるにつれて増加率は低減することを示し、名古屋市と生活形態をほぼ同じくする名古屋市民の展延する圏域—これを都市圏の第1圏、都市生活圏と呼ぶことができる。

次いで10〜20%増加率地区には、20%以上地区につき連続している地域と、離島式に分散配置する地区とある。前者は尾張平野部と岐阜市に至る名鉄本線、国鉄東海道本線に沿う一帯で、小牧市(19%)、大口村(19%)、一宮市(17%)、尾西市(16%)、木曾川町(18%)、岐阜市(13%)、各務原市鶯沼地区(13%)等である。離島式分散配置をする地区は多く東方と南方とに現われ、そこは有力衛星都市の分布と一致する。例えば多治見市(10%)、瀬戸市(12%)、豊田市(13%)、知立町(14%)、刈谷市(13%)、常滑市(11%)等がそれであり、三重県下では桑名市に隣接する朝日町(11%)、川越村(11%)である。

次に3〜10%増加率地区は、木曾3川の流域低湿地帯、養老山脈地帯を除外すれば名古屋市を中心に半径40km圏に包含される地帯である。ただ不規則な圏で、交通網のよく整備された地区は舌状に伸びて40kmを超えている。すなわち、中央線沿線、関西線、近鉄線沿線、名鉄線、東海道本線沿線、知多半島の河和線沿線がそれである。

人口増加率マイナス地域は増加率0.0%以下の地域で、その外周に広大にひろがり、地形的には山地、丘陵地域か、さもなくば低湿地帯か沿岸漁村地帯である。すなわち、第1次産業卓越地帯で山村、中山間村、漁村で、ここは殆んど例外なく減少している。交通的条件は名古屋市ならびに有力衛星都市へ自宅から通勤することのできないいわゆる通勤圏外の農漁村が減少している。

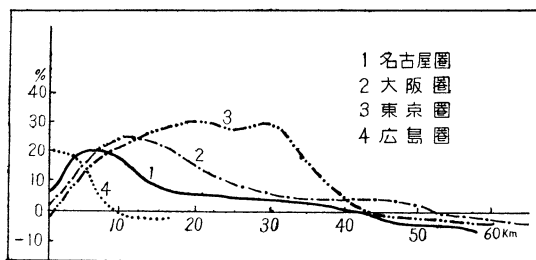
都市への通勤可能限界が人口増減の明暗を分ける有力な要因であり、その増減の分水界をもって一応中京広域都市圏の限界線と概定することができる。

2 中京と東京、大阪の対比

人口増加率分布図を、中心都市の都心から周辺フリンジまで放射状にきり、その平均値によって断面図をつくると第1—2図となる。

名古屋、東京、大阪はほぼ40km圏に変換点があり、その内側は増加、外側は減少となっている。

第1—2図 人口増加率(平均値)と都心からの距離



(伊藤達雄原図)

(備考) 昭和30〜35年の増加率 東京と名古屋は40km圏に変換点がある。しかし、両者比較では増加率の較差は10〜40km圏においてはげしい。

人口激増地区は名古屋市は7km圏に、大阪市は10km圏に、東京都は20km圏に、地方都市広島市は都心に存在する。その距離は都市人口規模と正の相関を示す。また、増から減への遷急点は名古屋と東京は40km圏に、大阪は50km圏に、広島は10km圏に存在する。3巨大都市が40km圏にほぼ接近しているのはMetropolitanizationの進展の物理的限界を示唆するもので、それは中心都市への通勤限界線とも一致すると考えられる。

都心から20km, 30km, 40kmの人口増加率を対比すると名古屋は7%, 4%, 1%, 大阪は15%, 6%, 4%, 東京は30%, 30%, 4%で都市規模、すなわち都市エネルギーの大きさに比例している。

なお、1960〜64年の最近4カ年間の人口増加率をみると、前述の増加率の高い地域がやはり高く、しかもその比率は前期(1955〜60年)にくらべて断然高まっている。尾張部の一宮、津島市、岩倉町、小牧市を結ぶ線内の名古屋市に近接する地域の市町村はすべて10〜35%の大幅な増加率を示している。豊山村は前期7%が今期は22%に、師勝村は11%が32%に、西春村は9.7%が32%に、春日村は10%が27%に、岩倉町は12%が28%に、美和町は0.5%が22%に、甚目寺町も4.2%が24%に、大治村が6.3%が21%に、小牧市は19.2%が33%、稲沢市10.4%が19%へと激増をつづけている。東方および西三河地方についてみると、刈谷市は13%が15%に、豊田市13.4%が31%に、三好町も1.7%が21.2%、長久手村は2.3%が12%に著伸している。

南部臨海工業地区の上野町は12%が63%に、横須賀町7.1%が48%に、大府町20.5%が27%に伸び、大阪のそれに比肩する伸びを示している。すなわち、さきの増加率20%以上地域(都市生活圏)とそれに隣接する10%等値線の内側は都市化のきわめて激しい地域である。

第3節 就業依存率からみた

中京広域都市圏

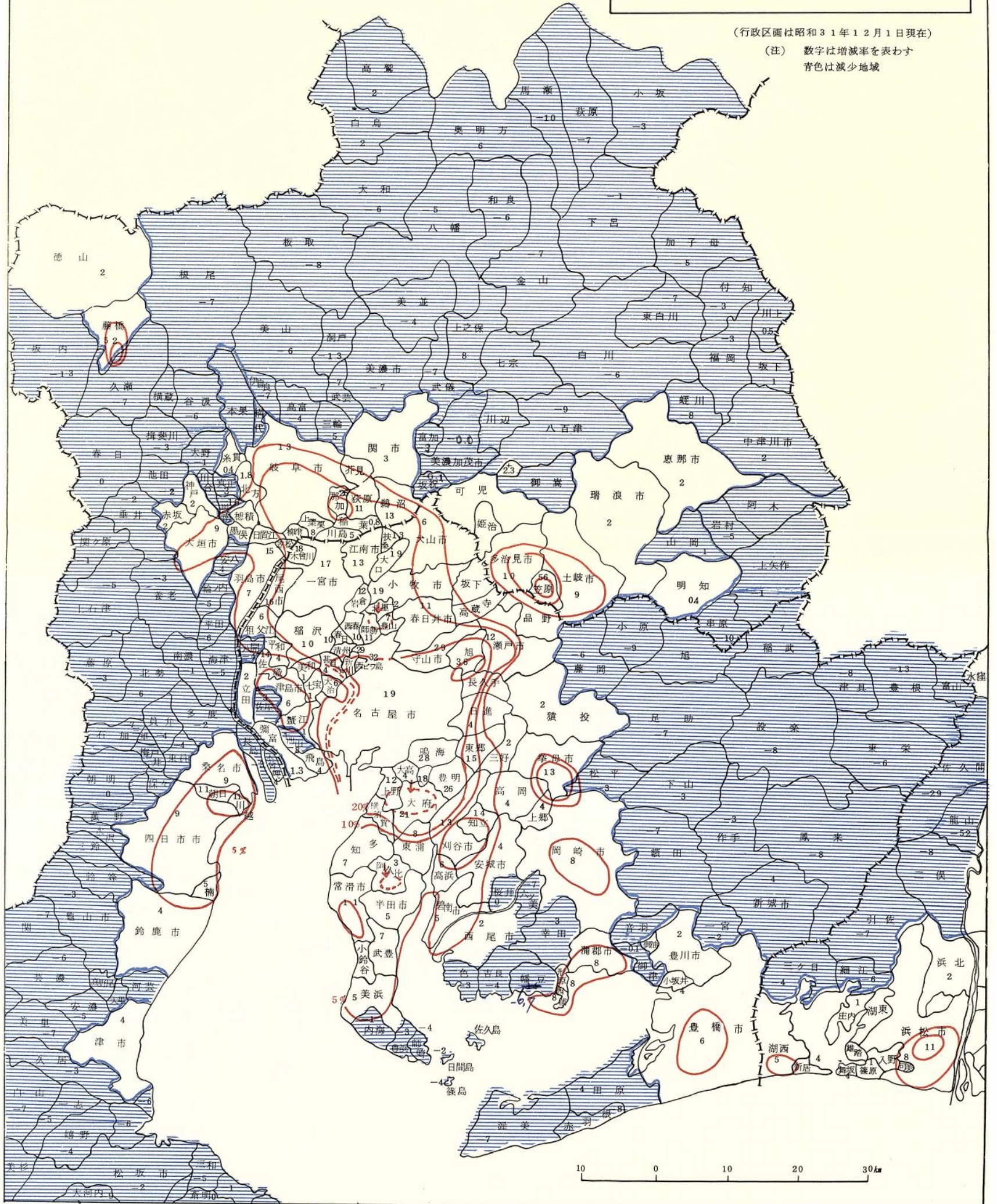
1 就業者に関する資料とその吟味

ここでは、1955と60年の両年の就業依存率を計算し、また

第1-1図 人口増減（昭30-35年）

（行政区画は昭和31年12月1日現在）

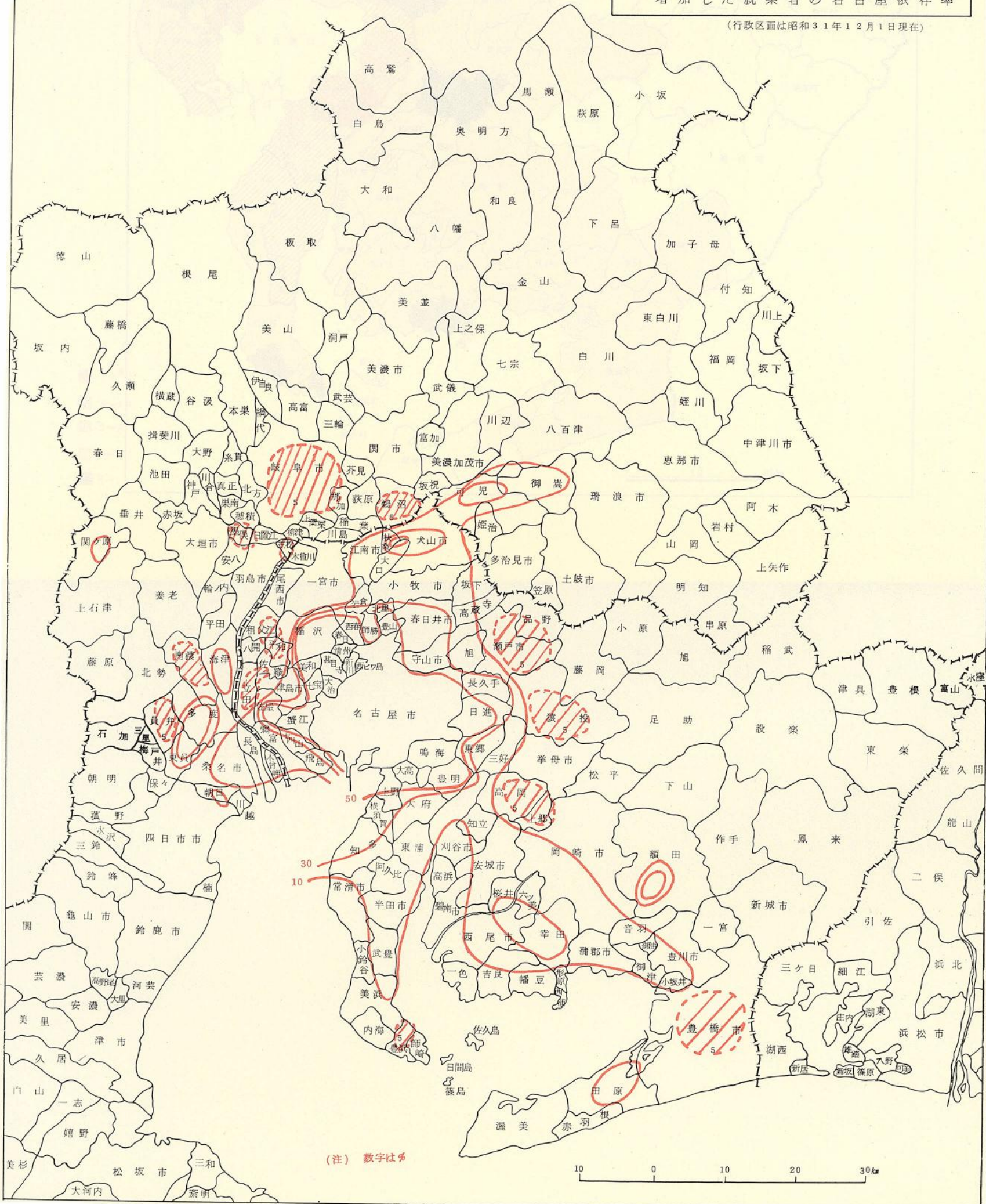
（注） 数字は増減率を表わす
青色は減少地域



1-4 図

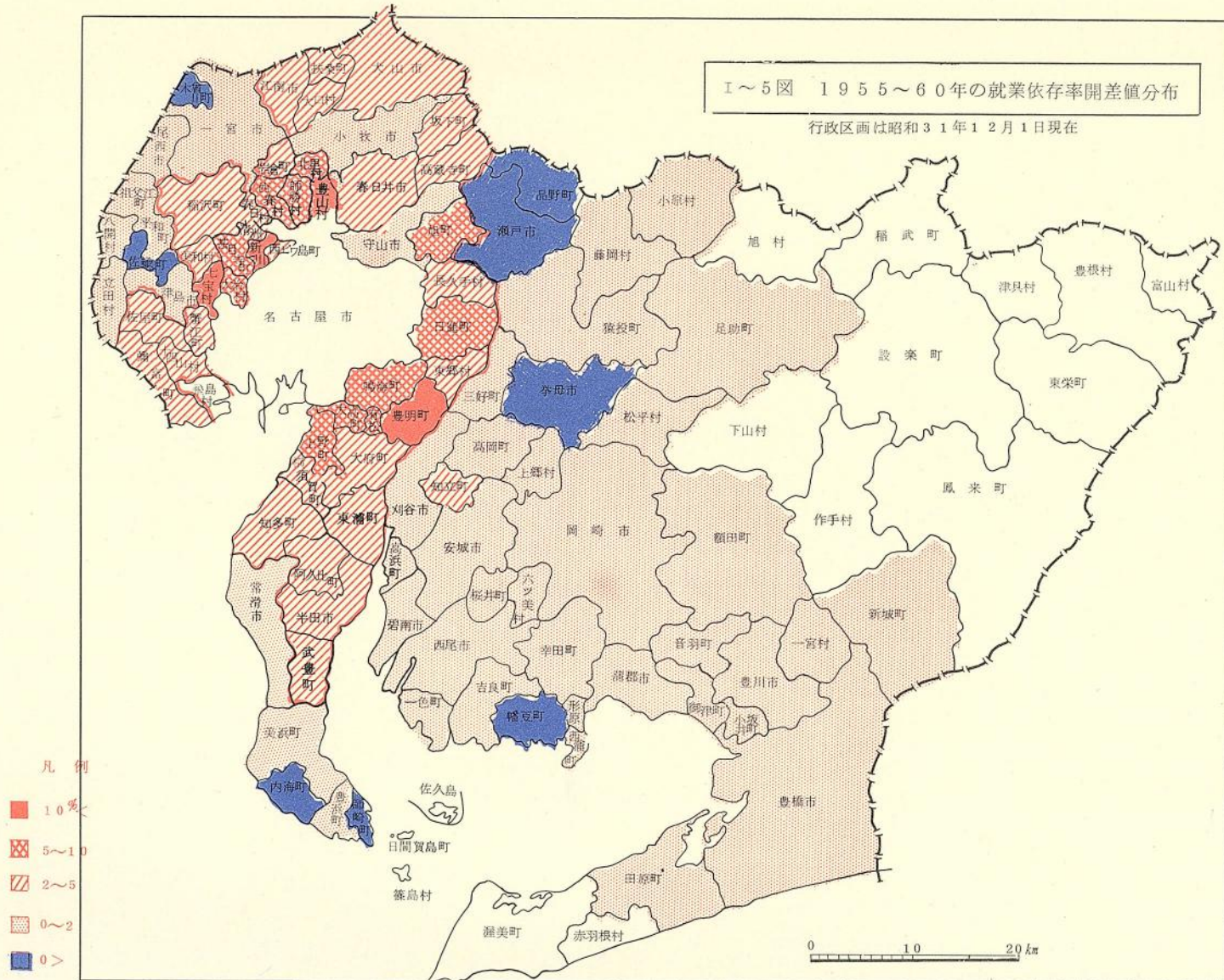
増加した就業者の名古屋依存率

(行政区画は昭和31年12月1日現在)



I~5図 1955~60年の就業依存率開差値分布

行政区画は昭和31年12月1日現在



5カ年間における変化を地域的に考察し、Metropolitan Regionの領域と構造を究明することにする。1955年については、従業地別就業者数について処理し、1960年調査と比較するために行政区も60年現在に統一した。また60年の全国調査は就業者と通学者数が合計されているが、愛知県、岐阜県、三重県は両者が区分されているので「昭和35年国調による愛知県の昼間人口」資料を利用した。

ここで次の4種の示数が算出されているが、その定義は次の通りである。

(イ) 就業依存率について

「名古屋市への就業依存率」とは当該市町村に常住する就業者(15才以上)のうち名古屋市で従業している者の割合である。

$$\text{就業依存率} DN_i = \frac{LiN}{Li} \times 100$$

但し Li : i 市町村に常住する就業者数

LiN : i 市町村に常住し、名古屋市で従業している就業者数

(ロ) 就業依存増加率

昭和30~35年間に増加した市町村常住就業者数に対する同5年間に増加した同市町村常住の名古屋市での従業者数の割合をいう。

$$DN_i(\text{昭30} \sim \text{昭35年}) = \frac{\Delta LiN(\text{昭30} \sim \text{昭35})}{\Delta Li(\text{昭30} \sim \text{昭35})} \times 100$$

すなわち、 DN_i が岡崎市は16.4%、春日井市48.1%と算出されると、5年間に岡崎市の増加就業者100人のうち16.4人が名古屋市で従業することを意味する。また春日井市の場合は48.1人となる。

(ハ) 就業依存変動係数

各市町村の昭和30年における就業依存率に対する35年の就業依存率の比をいう。

$$QN_i = \frac{DN_i(\text{昭35})}{DN_i(\text{昭30})}$$

これは弾性値で、1.0を基準にして数値の高いほど名古屋市への依存性が相対的に強まったことを示す。例えば津島市1.1に対し西尾市1.6、豊橋市4.3とあるのは名古屋市への依存性は津島市は不変、豊橋市は著しく高まったことを示すのである。

(ニ) 就業依存率開差値

各市町村における昭和30年と35年の就業依存率の差をいう。

$$IN_i = DN_i(\text{昭35}) - DN_i(\text{昭30})$$

この数値は理論的には0を中心として+100から-100の間に分散する。5年間に全く変わらない場合は0となり、30年当時名古屋市に全く依存しなかった市町村が35年に常住就業者のすべてが名古屋市で従業するようになった時+100となり、これと全く逆の場合には-100となる。通勤圏が5年間にどのように変化したかをみるには適切な指標であり、これによって郊外

化(Suburbanization)の進行状況を見ることができ

2 就業依存率の地域的分布と環状構造

1955~60年間の名古屋市への就業依存者は絶対値においては40Km圏内においては例外の2町村をのぞけば他はすべて増大している。その例外町村は岐阜県下の赤坂町(-2人)と坂祝村(-1人)である。

依存率の開差値においては、マイナスの市町村は愛知県下に2市2町(瀬戸市、豊田市、木曾川町、佐織町)があり、岐阜県下に2市6町(多治見市、関市、川島町、柳津町、赤坂町、安八町、坂祝村、笠原町)があるだけで他はすべてプラスとなっていて、中京地方の都市化の進行の顕著さを示している。

依存率分布の高低の状況は名古屋市からの距離の函数としてとらえることができるが、交通の便利度によってゆがめられ、不規則な同心円を画き、空間的距離よりもむしろ時間的距離(time distance)がきいている。このことは後述の都市圏構造にも適用される圏域形成の原理である。

依存率30%以上の最高地域は、名古屋市とその隣接町村で、すでに合併している守山地区(46.4%)、鳴海(46.4%)をピークにして、大高(32.3%)、有松(39.2%)地区があり、合併が話題になる上野町(31.4%)、豊明町(31.7%)、西枇杷島町(41%)、新川町(30%)蟹江町(32.5%)もこれに属している。

10~30%の依存率中位地帯は、30%ラインの外側に環状にひろがり、知多半島と一宮都市圏と海部郡西半部と瀬戸都市圏の4地区を除く尾張地方全域である。この範囲は金山橋中心半径20Km圏の地域である。これはロンドンのロンドン・コナーベーション(London Conurbation)の範囲とほぼ同じ広さであることも興味のあることである。

5~10%依存率地域は、尾張地方においては10%ラインに密着して並走する狭い地域であるが、知多と西三河地方においては細長く舌状に伸びている。対抗都市の都市力の弱さと交通的アクセシビリティの結果である。もし点線(2~5%)で囲む地区をも加えて巨視的に説明するならば30~40Km圏に発達する岐阜市、多治見市、豊田市、四日市市等の都市力が強いためにそこが不規則な円となり、5~10%の比率を示さないだけで、その依存率分布の地域構造は名古屋市を核とする環状構造となり、その限界は約40Kmと見て差支えない。

地形的制約条件として、木曾川と木曾川下流の低湿地があるが、ここは行政区も異なり、木曾川に架る橋もなく、それらが相まって名古屋市依存率を著しく低下させているとみられる。

増加就業者名古屋依存率の分布についても同様である。

すなわち、依存率30%以上の最高地域(増加就業者数100人のうち30人以上が名古屋市で従業)は名古屋市に隣接する市町村のみである。うち50%以上をしめる地区は名古屋市東郊(日進、豊明、上野)と西郊(西枇杷、新川、清

洲, 西春, 春日, 稲沢, 甚目寺, 美和, 七宝, 大治, 蟹江および佐屋)と北郊地区(豊山, 北里, 春日井)ではほぼ15Km圏にふくまれる範囲である。10~30%地区が知多, 西三河に舌状に伸長し, 広見線沿線の御嵩, 兼山, 可児の町村に触手を伸ばし, 一方関西線, 近鉄線沿線の桑名方面にも伸びているのは交通的アクセシビリティのためである。

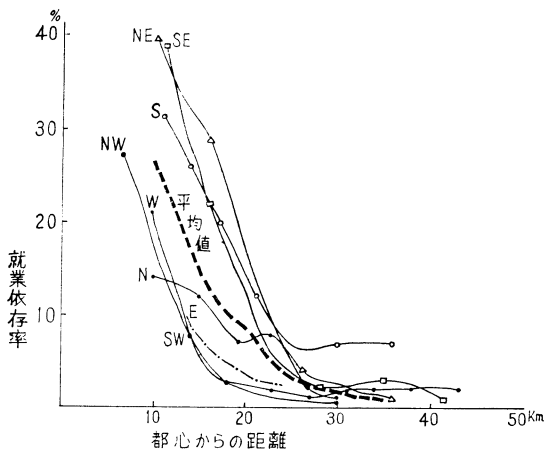
以上の両図を通じて言えることは通勤依存圏は40Km圏までで, 依存率の高い地方がまた増加就業率も高く, 年と共に名古屋市との関連は深められているということである。又就業依存変動(依存率開差)をみると, 名古屋市の東郊と西郊に開差5%以上の地区が現われ, 郊外化(Suburbanization)の顕著な地区となっている。そのうち10%以上の高率地区は豊明町(11.9%)でこれをピークに日進町(7.5%), 鳴海町(7.3%), 旭町(5.0%), 長久手村(4.8%)がつづいている。西郊および北西郊では豊山村(12.8%), 新川町(12.7%)をピークに師勝村(6.3%), 西春村(6.2%), 七宝村(11.5%), 甚目寺町(5.3%), 大治村(9.4%), 蟹江町(4.8%)が分布する。

この地区の依存率変動係数はいずれも1.5以上で名古屋市への依存性が相対的に高まっていることを示している。

就業依存率分布と都心からの距離

就業依存率の分布のパターンを方向別セクションによって示すと, 都心からの距離が隔たるに従って, その依存率は漸減する。東京都区部, 大阪市, 名古屋市をそれぞれ中心都市とした場合の分布状況を科学技術庁資源局の資料によって比較すると次のようである。

第1-6図 就業依存率と都心からの距離



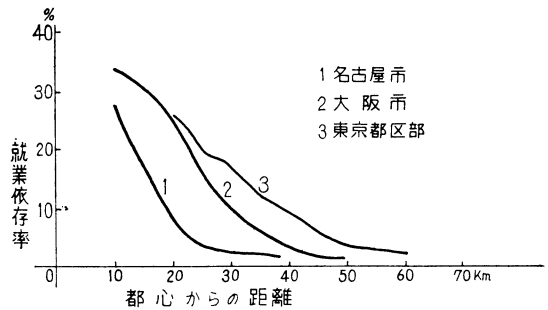
(備考) 名古屋市の都心から8方向別断面を示した。

SE, NE...等はそれぞれの方向を表す。

(イ) 東京, 大阪, 名古屋のいずれの場合にも都心に近いほど中心都市への就業依存率は高く, 周辺に向うにつれて低下してゆく。

その低下の度合は中心都市の都市力の大きいほどゆるやかで, 小さいほど急傾斜をなして減少する。3大都市

第1-7図 3大都市地域の就業依存率分布と都心からの距離



地域のうちでは名古屋の場合が最も急傾斜している。
(ロ) 3大都市地域とも依存率が2.0%ぐらまで低下すると, それ以後は都心からの距離が遠ざかってもあまり低くならない。このことから, 依存率2.0%まで低下するあたりが景観的都市化の進展する縁辺部に相当する。この2.0%におけるカーブの変換点の位置は東京より大阪が, 大阪より名古屋がより明瞭になっている。

就業依存率2.0%をメトロポリタニゼーション(Metropolitanization)の縁辺部と想定すると都心からこの縁辺までの距離は第1-7図のごとく東京区部の場合には55Km, 大阪市は40Km, 名古屋市は30Km程度となり, 3大都市相互の間にはかなりの差異があることが認められる。

(ハ) 中京広域都市圏をさきの人口増加率0.1%以上と1955年の就業依存率2.0%以上の市町村としてこれを図化すると第1-8図となる。

この同じ図上に同様の方法で画定したスケールの等しい東京広域都市圏図を投影して, その両者の面積比を求めると東京:中京は3:1となる。

中京広域都市圏は, 東西二大都市圏の間に新しく噴出し形成された昭和山型の新興経済文化圏であり, 発展過程にある都市圏であるといえる。

第4節 買回品依存率からみた

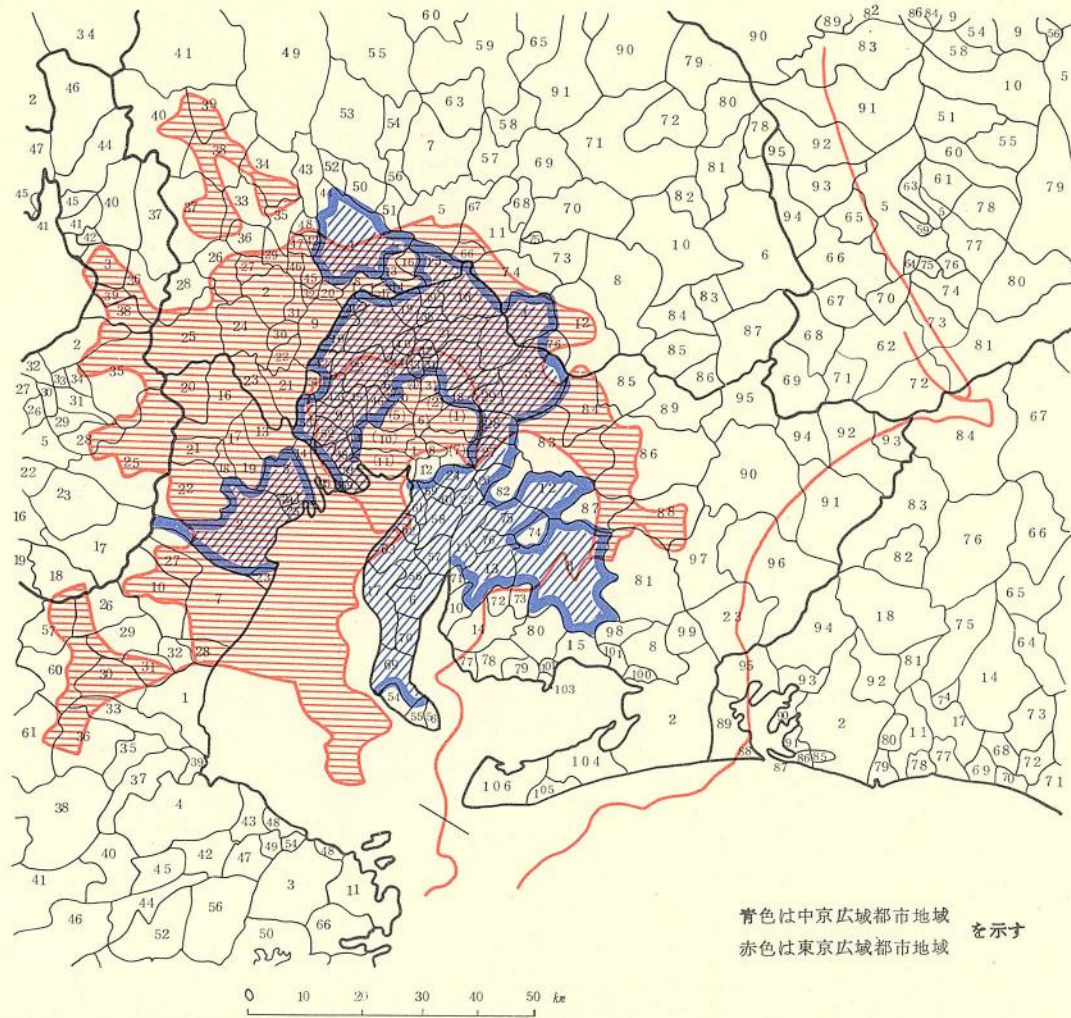
中京広域都市圏

日用必需品購買圏は都市圏においては基礎的地域でいわゆる都市生活圏を形成するが, 買回品購買圏は巨大広域都市圏をきめる指標といわれている。さきに人口増加率と就業依存率2%以上をもって中京広域都市圏の範囲を決定したが, ここでは買回品依存率(第2報で詳論するが)によって, 前述の範囲との関係を吟味してみる。買回品依存率は高級品4種目の平均値をもって, その依存先都市別比率を計算し, それを地図上にプロットし等値線は就業依存率と同様50%, 30%, 10%の3種とした。

概観して言えることは, 両圏とも殆んど同形, 同規模の相似形をなし, とくに注目すべきことは50%以上の圏域は見事な地区的一致を見ていることである。この等値線は小

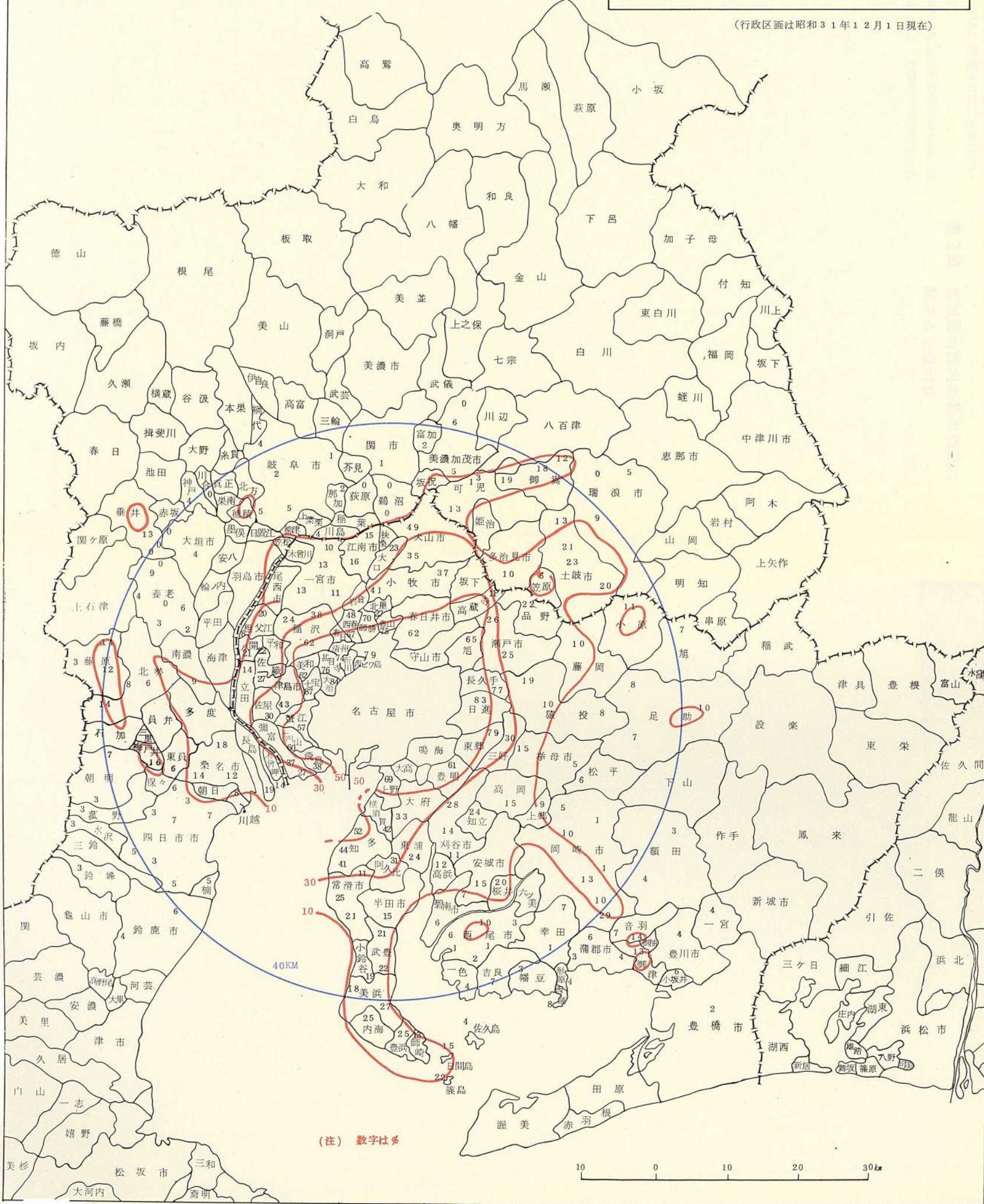
I ~ 8 図 中京広域都市地域と東京広域都市地域の比較図

(人口増加率(昭30-35) 0.1%以上)
 (昭30年就業依存率 2.0%以上)



1 - 9 図
買回品依存率 (昭和40年調)

(行政区画は昭和31年12月1日現在)



牧、春日井両市間を分け、稲沢市を東西に分断し、尾張、三河の境界をもってはっきり区分されている。ただ海部郡弥富町が通勤圏に含まれながら、購買圏では除外されている程度の差はみとめられる。

さらに50%以上圏域内の比率には若干の差がみられ、名古屋市との結合度は就業依存率よりも購買率の方が全体としては高くなっている。前者では70%以上依存する町村は皆無であったが、後者では70~80%が7カ所、80~90%が3カ所(日進、大治、七宝)もある。このことは巨大都市の近郊では工場分散による通勤の地域パターンは変え得るが、高級品店の誘致は容易ではなく、中心都市の都心又は副都心に依存せざるを得ないことを示すのである。高級品専門店、デパートメントストア、スーパーマーケット等は相当の規模と所得水準の人口集団(20万人程度)をもたない限り立地し得ないものである、という通説をここでも実証している。この50%以上の範囲は都心からの距離約12Km圏に相当している。

30~50%圏域は、通勤の30~50%圏域とほぼ相似形ではあるが、部分的には通勤を上回り、広く拡大している。例えば小牧地区がそれである。拠点開発による小牧地区の工場集積は活発に行われても、商店街の体質改善のテンポはこれに伴なわないうし、都心から30分のタイムディスタンスにある中小衛星都市では高級品専門店、デパートメントストア等は近郊農村と同様成立し得ないからである。この30~50%圏域は半径約15Kmの地域であるが、小牧線、犬山線沿線と名鉄常滑線、河和線の各沿線は触角を伸ばしている。この両地区とも強力な衛星都市又は対抗都市をもたない商圏伸長上の抵抗力の弱い地区だからである。

これに反して一宮市、瀬戸市、刈谷市は商店街の形成も古く且つかなりよく整備されているために30%ラインを遠く外側へ伸ばすことは不可能で、むしろ15Km圏の内側に固定している。

一宮市は商業的・工業的両部門において充実した都市力を有し、東海地方有数の強力な都市圏をつくっているために、名古屋市の商圏伸長は容易ではない。稲沢市を中心とするこの中間地帯は商圏競合地帯でもあり、隣接する都市の都市力伸長の度合により変動する可能性がある。

10~30%圏域は通勤圏と同様に広大な地域にひろがっているほぼ35~40Km圏と一致する。その地域的パターンも同型とみなされるが、依存率の差は木曾川右岸に現われ、とくに岐阜県下の輪中地帯に顕著であり、また交通線に沿う触角は五方向に伸び、東濃地方の広見線沿線、中央線沿線、名鉄本線西三河地方、河和線沿線、関西線近鉄線沿線に伸長している点も通勤圏と酷似する。

なお、名古屋市への依存率の強さを衛星都市とその周辺農村と比較してみると、衛星都市内が低く、農村部が高い。農村部住民は中心都市と衛星都市を二者択一的に選択する自由をもち、高級品については巨大都市を選ぶ可能性の方が大きい。

しかし、日帰りのきかない60Km圏以遠地域ではこの逆の結果となるのが一般である。

第2章 広域都市圏内の都市機能に関するLQ分析

第1節 LQ分析の意義と方法

中京広域都市圏は中心都市名古屋をかこむ都市連合地域であり、その中には28都市と87町村が含まれる。これらの都市および町が居住都市か職場都市かあるいは総合都市であるかによって地域全体の構造、性格は異なったものになる。その性格分析には Location Quotient を適用して定量化することが一つの方法であろう。それによって客観的な現状の把握も可能であり、開発計画の基本方針の決定にも有力な手がかりとなる。

1 LQ分析に用いた統計

LQ計測に用いた資料は1960年度事業所統計、同工業統計、同商業統計の各市町村別結果表である。事業所統計は3カ年毎、商業統計は隔年毎、工業統計は毎年調査報告されているが、その調査年次はすべての統計において統一されてはいないが、幸い1960年度は上記3統計とも報告があり、また同年には国勢調査も施行されていて各統計間の比較検討も可能である。

事業所統計は市町村別には大分類別結果しか公表されていない。したがって、とくに中分類以下の細かい結果が必要と考えられる都市の製造業関係、卸小売業関係の内容についてはこの事業所統計の公表結果からは得られない。そこで本調査対象地域内における主要都市のこれら2部門については工業統計の中分類、商業統計の中小分類によって補完した。この報告では、1960年についてのみ、クロスセクショナルな分析を行なったが、同様な分析が時系列的にも行なわれて、5年、10年毎における動態的把握がのぞましいことはいうまでもないが、この点については次の機会にゆずることとする。

2 分析の方法

一つの統一的機能地域のなかで、地域内の都市と町村について、それらの地域単位が果たしている機能の強弱や質を客観的に表現しようとする手法については、古くからさまざまな方法が考えられている。

例えばハリス(Harris, C. D.)が都市の機能分類を1930年センサスによって各産業別就業者構成比によって、その構成比の値の高いものを抽出して工業都市、小売業都市…等9つの型に分類しているし、またネルソン(Nelson, H. L.)は産業構成比と都市数とのヒストグラムを描き、平均値と標準偏差を用いて階級区分し、卓越産業を抽出する基準を客観化することに成功している。

アレキサンダー(Alexander, J. W.)は都市機能のうち自市内人口にサービスするだけの量を nonbasic function

と規定し、これを除いた量を自市外人口すなわちヒンターランドの人口にサービスする機能とし、これを、**basic function** とし、その比をB/N比と考え、この値の大きいほど自市外へのサービス能力の大きいものとする。要するにこのB/N比は一定の機能地域において各中心市の果たしている役割の強さを相対的に表現する手法として注目される。しかしわが国ではこれを算出するデータが不備でその適用は現状では困難である。

Location Quotient による分析は上記B/N比の考え方を尊重しつつ、わが国の統計により得られ易いデータでこれを表現する方法として採用されるものである。すなわ

例1 ミルウォーキー市のL、Q。

産 業 分 類	就業者	構成員	L Q	構 成 比 開 差	
				(B) - (A)	差
	USA (A)	ミルウォーキー (B)	(B)/(A) × 100	+	-
(1)第1次産業・非市場向生産	14.4	0.7	0.05		3.7
(2)第1次段階 資源利用業・非市場向生産	2.1	0.5	0.24		1.6
(3)第1次段階 “ “ 市場向生産	2.0	4.1	2.09	2.1	
(4)第2次段階 “ “ 非市場向生産	5.2	4.2	0.80		1.0
(5)第2次段階 “ “ 市場向生産	3.4	3.0	0.89		0.4
(6)第2次産業 “ “ 非市場向生産	10.9	28.8	2.63	17.9	
(7)第2次産業 “ “ 市場向生産	1.9	2.2	1.13	0.3	
(8)サービス産業 “ “ 地方的	2.5	32.4	1.00		0.1
(9)サービス産業 “ “ 非地方的	2.8	11.2	0.87		1.6
(10)サービス産業 “ “ 地方・非地方的	7.2	6.7	0.94		0.5
(11)建設業	6.1	5.1	0.83		1.0
(12)その他	1.5	1.2	0.78		0.3
計	100.0	100.0		20.3	29.2

例2 豊田市のL、Q。

産 業 分 類	就業者構成比		L Q	構 成 比 開 差		
	全 国 (A)	豊田市 (B)		(B)/(A) × 100	+	-
D 鉱 業	1.98	0.67	0.34	27.95	1.31	
E 建 設 業	7.46	5.10	0.68		2.36	
F 製 造 業	34.78	62.73	1.80			
G 卸、小売業	26.43	13.41	0.51		13.02	
H 金、保険業	3.06	1.13	0.37		1.93	
I 不 動 産 業	0.37	0.11	0.30		0.26	
J 運、通信業	8.46	7.94	0.94		0.52	
K 電、ガ、水道	0.82	0.58	0.71		0.24	
L サ ー ビ ス 業	16.62	8.33	0.50		8.29	
	99.98	100.00			27.95	27.93

(備考) 豊田市が製造業1.80で全国的に卓越特化した都市で、卸・小売、金融・保険業が劣弱であることが明らかである。

ち、ここで使うのは(B)/A比である。(A)は一定の機能地域内における特定産業の従業者構成比(%), (B)はその地域内の特定都市の特定産業の従業者構成比(%)である。

例えば、わが国の商業人口比は事業所統計では26.4%である。ある都市の商業人口比がその都市の全従業者数の52.8%を占めるとすると(B)/A比は2.0となる。この比が1.0の場合は全く平均的機能をもつことであるからその都市は平均値に対して2倍の商業的機能をもつものと判定できる。それだけこの都市はさきのアレキサンダーのいう**basic function** すなわち外部サービスをしていると見てよい。またLQが1.0以下のときはそれだけ未発達であり

non-basic function としても不完全であることを示す。

USAにおいては、ダンカン(Duncan, O. D. 他4名)は1960年のMetropolitan Regionにおいて、1950年現在人口10万以上の標準大都市地域(SMA)151についてLQを算出し、SMAの産業構造の分析のために使っている。要するにLQ分析は各都市の産業別就業者構成比を全国比において位置づけ、客観的・定量的に理解

できるところに意義が認められる。

その求め方は次のようである。USAのミルウォーキー市の場合は前記ダンカンの算出により、本論では事例を豊田市と岐阜市について示すことにする。

豊田市・岐阜市ともベースは全国比において求めた。

豊田市のLQでは1.00以上は製造業のみで、その値は1.80で名古屋市の1.19、豊橋市の1.16にくらべるとかなり高い特化を示す。しかし、一宮市の1.96、瀬戸市の1.93、刈谷市の1.95にくらべると1960年の時点においては、まだそれらには及ばない。

豊田市の他の産業部門、とくに第3次産業部門では低位が目立ち、卸小売業、サービス業などでは全国比において約半分の値をもつにすぎない。同表に示された構成比開差は、全国比においてその都市が全体としてどの程度の偏差があるかを示

例3 産業中分類・小分類別L、Q、算出

大分類	中小分類	豊田市	岐阜市
製造業	食料品	0.55 ×	0.75 ×
	繊維	0.31 ××	1.82 ○○
	衣服・その他	0.04 ××	4.46 ○○○
	木材・木製品	0.06 ×	1.02 □
	家具・装備品	0.04 ××	1.18 □
	パルプ・紙	0.06 ××	1.28 ○
	出版・印刷	0.20 ××	1.24 ○
	化学	0.04 ××	0.16 ××
	石油・石炭製品	— ××	1.14 □
	ゴム	— ××	0.39 ××
	皮革	— ××	0.06 ××
	窯業・土石	1.05 □	0.47 ×
	鉄鋼	— ××	0.46 ×
	非鉄金属	0.13 ××	0.14 ××
	金属製品	1.10 □	0.63 ×
	機械	0.47 ×	0.80 □
	電気機器	0.10 ××	0.09 ××
	輸送用機器	25.24 ○○○	0.57 ×
	計量器光学	0.21 ××	0.11 ××
	卸売業	繊維卸	— ××
衣服卸		— ××	7.60 ○○○
畜産物水産物卸		0.38 ××	0.93 □
食料品卸		0.37 ××	1.09 □
医薬化粧品卸		0.46 ×	1.73 ○○
化学製品卸		0.06 ××	1.26 ○
鉱物金属卸		0.43 ×	0.90 □
機械器具卸		0.12 ××	1.85 ○○
建材卸		0.27 ××	1.29 ○
家具建具什器卸		0.14 ××	1.11 □
代理仲立業	代理商・仲立業	0.59 ×	0.95 □
小売業	各種小売	— ××	1.92 ○○
	織物小売	0.60 ×	1.15 □
	飲食料品小売	0.55 ×	0.87 □
	自転車荷車小売	0.53 ×	1.12 □
	家具建具什器小売	0.59 ×	1.20 □

す総合的指数である。豊田市の不同指数27.9はかなり高い値で、全国の産業構成とくらべて特定産業の卓越度の強い都市であることを示している。

豊田市の製造業のうちどの工業々種に特化しているかを同年度の工業統計の中分類により検討すると、例3のごとく輸送用機器のL Q25.2となり、その他1.0以上は2業種にすぎない。すなわち窯業土石業1.05、金属製品1.10の2つである。豊田市は製造業特化都市のうちでも典型的な単一製造業都市といえることができる。

商業については、商業統計小分類によって分析すると卸売業・代理仲立業・小売業とも1.0以上は皆無で、いずれも0.6以下の低位である。これを40Km圏の有力衛星都市の岐阜市と比較すると、岐阜市は卸売業中衣服卸7.6をピークに全業種の80%が1.0以上、また小売業の1.0以上が80%も数えられ、都市機能上バランスのとれた総合都市といえることができる。

第2節 広域都市圏内の都市および町村の分析結果

以上のような計算によって、40Km圏内の市町村120(116市町村に豊橋・豊川・蒲郡・新城を含めてある)

(備考)

LQの階級区分

(1) 0.00~0.39	××
(2) 0.40~0.79	×
(3) 0.80~1.20	□
(4) 1.21~1.60	○
(5) 1.61~2.00	○○
(6) 2.01以上	○○○

について計算した結果、L、Qの値にしたがって、次の6階級に区分すると第1—2表のようである。すなわち、中京広域都市圏の場合

第1—2表 LQ値の階級区分による市町村の割合

階級区分	L、Q、値	参 考	所 属 市 町 村 数				
			製造業	卸小売業	金融保険業	不動産業	サービス業
1	0.00—0.39	劣位	8(6.7%)	22(18.4%)	77(64.0%)	92(76.7%)	12(10.0%)
2	0.40—0.79	やや劣位	20(16.7)	51(42.6)	31(26.0)	17(14.2)	48(40.0)
3	0.80—1.20	平均	19(15.8)	32(26.7)	7(5.8)	6(5.0)	23(19.2)
4	1.21—1.60	やや優位	19(15.8)	10(8.3)	5(4.2)	3(2.5)	17(14.2)
5	1.61—2.00	優位	28(23.2)	3(2.5)	—	—	9(7.5)
6	2.01以上	きわめて優位	26(21.8)	2(1.6)	—	2(1.6)	11(9.2)
計			120(100.0)	120(100.0)	120(100.0)	120(100.0)	120(100.1)

(備考) 所属市町村名は後出の付録表4にくわしい。

、製造業で階級4以上の優位の市町村は60.8%をかぞえ、劣位にあるものは23.4%にすぎなく、全体として工業化の進んでい

第1～3表 中京広域都市圏内の各都市の Location Quotient (1960)

都 市	産 業	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	不同示数 (未調整)
		鉱 業	建設業	製造業	卸小売業	金 融 保険業	不動産業	運 輸 通信業	電・ガ 水道業	サービ ス 業	
1	名古屋	0.03	0.72	1.19	1.05	1.08	1.30	1.03	1.31	0.71	8.8
2	岡崎	0.25	0.79	1.38	0.84	0.90	0.46	0.67	1.73	0.81	13.8
3	一宮	0.10	0.29	1.96	0.64	0.48	0.11	0.45	0.61	0.42	33.3
4	瀬戸	1.08	0.27	1.93	0.56	0.52	0.11	0.50	0.43	0.47	32.3
5	半田	—	0.62	1.58	0.71	0.85	0.16	0.77	1.59	0.67	20.5
6	春日井	0.49	1.14	1.46	0.69	0.43	0.43	0.64	1.44	0.80	12.4
7	津島	—	0.44	1.82	0.66	0.77	0.11	0.46	1.11	0.54	28.5
8	碧南	0.14	0.42	1.77	0.69	0.64	0.14	0.46	0.18	0.63	26.9
9	刈谷	0.04	0.77	1.95	0.42	0.40	0.16	0.76	0.82	0.41	33.2
10	豊田	0.34	0.68	1.80	0.51	0.37	0.30	0.94	0.71	0.50	28.0
11	安城	0.31	0.81	1.59	0.68	0.41	0.30	0.43	0.27	0.91	20.4
12	西尾	0.10	0.61	1.65	0.73	0.76	0.16	0.55	0.49	0.67	22.6
13	犬山	×	0.88	1.17	0.91	0.30	0.35	1.30	1.20	0.94	8.7
14	常滑	0.12	0.47	2.01	0.50	0.30	0.08	0.25	0.18	0.61	35.0
15	守山	0.06	0.43	1.54	0.70	0.43	1.51	0.55	0.22	1.08	20.4
16	江南	0.54	0.47	1.88	0.58	0.30	0.11	0.25	0.18	0.70	30.4
17	尾西	—	0.21	2.50	0.22	0.29	—	0.05	0.12	0.26	52.1
18	小牧	0.16	0.61	0.89	1.14	1.35	0.32	0.67	0.57	1.44	11.9
19	稲沢	—	0.39	1.46	0.50	0.18	0.05	2.56	0.20	0.64	29.4
20	岐阜	0.12	0.75	1.02	1.21	1.52	0.97	0.71	1.09	0.88	8.1
21	大垣	0.15	1.05	1.51	0.68	0.65	0.14	0.91	0.61	0.67	18.1
22	多治見	0.38	0.34	1.59	0.81	0.86	0.11	0.72	1.16	0.62	20.6
23	関	0.04	0.67	1.57	0.74	0.78	0.62	0.40	1.99	0.79	20.7
24	羽島	×	0.36	1.95	0.59	0.41	0.05	0.26	×	0.63	33.0
25	美濃加茂	0.12	1.18	0.52	1.10	0.94	0.62	2.17	1.20	1.28	18.9
26	土岐	0.35	0.32	1.92	0.65	0.37	0.03	0.28	0.22	0.49	33.2
27	四日市	0.04	1.22	1.44	0.73	0.68	0.41	0.99	1.04	0.59	17.1
28	桑名	0.17	1.12	1.61	0.73	0.60	0.19	0.54	0.63	0.55	22.0

(備考) 名古屋市中心半径40km圏内の28都市について掲げてある。他の町村は付録の表によられたし。

る地域であることを示している。これに対して卸小売業では階級4以上はわずかに12.4%で階級1,2のもの61.0%もあり、金融保険業はさらに低位で階級1,2のもの90%となり、不動産業も階級1,2のもの90.6%にも達している。サービス業も階級1,2の劣位のもの50%、きわめて優位はわずかに9.2%にすぎない。これを要する第2次産業においては優位地域ではあるが、第3次産業は一般に未成熟であつてこの点は将来に期待される地域といえよう。

これを市制施行(1960年当時)の都市28についてL, Q,

分析をすると次のことが指摘できる。(第1—3表)

1. 鉱業においては瀬戸市(1.08)を除いてはすべて劣位にある。
2. 建設業は春日井市・大垣市・美濃加茂市・四日市市・桑名市の5市が平均値ないしやや優位であり、その他の23市(82%)はすべて劣位である。
3. 製造業については小牧市(0.89)、美濃加茂市(0.52)を除けば他の26市はすべて1.0以上の平均値又は優位にある。そのうち小牧市も1960年以降のはげしい工業

集積によつて平均値以上にvari工業的衛星都市のワク内に編入されたので工業的劣位都市はただ1市美濃加茂市だけにすぎない。

すなわち、中京広域都市圏を構成する都市群は工業において特化する都市で、この問題に関する限り首都圏・阪神圏とは著しい差異を認めざるをえないし、このことが当地域の最大の強味でもある。後述するように、その工業的伸長率もきわめて高いのである。別言するならば、中京圏は地域構造上からは工業特化都市の構成する連合都市地域であるといえるのである。

(第2報都市圏の画定と性格分析を参照)

4. 卸小売業については名古屋市・岐阜市が高水準の総合都市であり、工・商ともに平均値以上にあるが、その他の都市は一般に未成熟の状況にあるといえる。1960年の時点においては犬山・小牧・美濃加茂・岡崎が平均値に近い数値を示している。0.5以下の商業劣位都

市は刈谷(0.42)常滑(0.50)尾西(0.22)稲沢(0.50)の4市で都市的社会というよりも工場都市という性格がより強く打ち出されている。豊田(0.51)がこれに次ぐ。住みよい都市づくりのための基本条件の検討と対策がのぞまれる。

5. 金融保険業、不動産業、電・ガ・水道業等については名古屋市、岐阜市がやや優位にあり総合都市としての性格を示しているが、その他は卸小売業と同じく劣位にとどまっている。これを要するに多くの都市は工業的特化都市ではあるが、その他の都市的諸産業においては未だ劣位にあり、今後その面の伸長が強くのぞまれる。
6. 不同示数の小さいのは名古屋市(8.8)岐阜市(8.1)犬山市(8.7)につぐものは、岡崎市(13.8)小牧市(11.9)春日井市(12.4)で、これらは一応総合都市の性格を有しているといえよう。

(表1) 名古屋市への就業依存率

市町村 (昭和35.10.1.)	昭和30年			昭和35年			イロハ		
	常住就業 者数 (A)	(A)のうち 名古屋市 で従業 (B)	就業依存 率 % $C = B/A$	常住就業 者数 (D)	(D)のうち 名古屋市 で従業 (E)	就業依存 率 % $F = E/D$	増加就業 者名古屋 依存率 $(E-B)/D-A$	変動倍率 (F/C)	開差値 (F-C)
愛知									
2 豊橋市	94511	303	0.4	107466	1687	1.7	6.8	4.3	1.3
3 岡崎市	70330	3116	4.4	83151	5211	6.3	16.4	1.4	1.9
4 一宮市	80246	2569	3.2	103333	3872	3.8	5.6	1.2	0.6
5 瀬戸市	33711	1522	6.9	43683	2103	4.8	5.8	0.8	△ 2.1
6 半田市	29700	2057	6.9	35351	3317	9.4	22.3	1.4	2.5
7 春日井市	30869	7936	25.8	37553	11212	29.9	48.1	1.2	3.1
8 豊川市	29733	639	2.1	31896	980	3.1	15.8	1.5	1.0
9 津島市	19793	1608	8.1	23059	2152	9.3	16.7	1.1	1.2
10 碧南市	21464	391	1.8	24418	641	2.6	8.5	1.4	0.8
11 刈谷市	23134	1254	5.4	29548	1773	6.0	8.1	1.1	0.4
12 豊田市	14318	468	3.3	22991	737	3.2	3.1	0.9	△ 0.1
13 安城市	27235	1069	3.9	30392	1710	5.6	20.3	1.4	1.7
14 西尾市	32419	524	1.6	35364	871	2.5	11.8	1.6	0.9
15 蒲都市	27624	239	0.9	31115	438	1.4	5.7	1.6	0.5
16 犬山市	17085	1586	9.2	19217	2392	12.4	37.8	1.4	3.2
17 常滑市	22899	1199	5.2	28369	1450	5.2	4.6	1.0	0.0
18 守山市	18486	8407	45.4	27302	12677	46.4	48.4	1.0	1.0
19 江南市	22157	1782	8.0	27136	2815	10.4	20.7	1.3	2.4
20 尾西市	26275	255	1.0	33979	407	1.2	2.2	1.2	0.2
21 小牧市	15638	1947	12.4	21217	3551	16.6	28.3	1.3	4.2
22 稲沢市	24107	1953	8.1	27033	3480	12.9	52.7	1.6	4.8
23 新城市	16065	98	0.6	16656	112	0.7	2.4	1.2	0.1
24 鳴海町	9805	3839	39.1	14006	6501	46.4	63.2	1.2	7.3
25 豊明町	5454	1078	19.3	7425	2361	31.7	65.0	1.6	11.9
26 東郷町	2614	179	6.9	3515	316	9.0	15.2	1.3	2.1
27 日進町	5273	827	15.7	5728	1328	23.2	110.1	1.5	7.5
28 長久手村	3171	398	12.6	3695	641	17.4	46.5	1.4	4.8
29 旭町	6923	876	12.6	9838	1730	17.6	29.3	1.4	5.0
30 西枇杷島町	5361	1981	37.0	7687	3147	41.0	50.1	1.1	4.0
31 豊山村	2343	298	12.7	2588	660	25.5	147.7	2.0	12.8
32 北里村	2854	270	9.5	3059	534	17.5	128.8	1.8	8.0
33 師勝村	3810	549	11.8	4832	875	18.1	32.6	1.5	6.3
34 西春村	4025	701	17.4	4653	1096	23.6	62.9	1.4	6.2

市町村	A	B	$C=B/A$	D	E	$F=E/D$	$E-B/D-A$	F/C	$F-C$
35 春日村	1437	169	117	1728	234	141	254	12	2.4
36 清洲町	3448	810	234	5014	1306	261	317	1.1	2.7
37 新川町	6258	1,079	173	7829	2349	300	808	1.7	12.7
38 大口村	4782	313	66	6142	630	101	237	15	35
39 扶桑町	5573	430	77	7221	902	145	728	1.9	6.8
40 岩倉町	5908	931	158	7506	1,407	188	298	12	30
41 木曾川町	10658	392	37	14058	511	3.6	3.5	10	△ 0.1
42 祖父江町	8817	292	33	10,483	383	3.6	55	1.1	0.3
43 平和町	4419	251	57	5,091	300	5.9	7.3	1.0	0.2
44 七宝村	2968	454	153	3335	894	268	1199	1.8	11.5
45 美和町	3461	499	144	3,751	702	187	700	1.3	4.3
46 甚目寺町	5173	520	100	5,631	863	153	749	1.5	5.3
47 大治村	2838	547	192	3,260	932	286	912	1.5	94
48 蟹江町	6299	1,743	27.7	7,192	2,334	32.5	66.2	1.2	4.8
49 十四山村	2302	244	10.6	2,359	352	14.9	1895	1.4	4.3
50 飛島村	1950	59	3.0	2,465	74	30	2.9	1.0	0.0
51 彌富町	7458	670	9.0	8,388	1,085	12.9	44.6	1.4	3.9
52 佐屋町	6870	436	64	6,879	623	9.1	2077.8	1.4	2.7
53 立田町	3,619	116	32	4,170	154	37	69	1.2	0.5
54 八開村	2,633	72	27	2,676	98	3.6	0.6	1.3	0.9
55 佐織村	6,286	460	73	8,140	581	7.2	6.5	1.0	△ 0.1
56 阿久比町	6,948	426	6.1	7,260	636	8.8	673	1.4	2.7
57 東浦町	10,467	493	47	12,310	866	7.0	20.2	1.5	2.3
58 大府町	9,905	1,228	11.5	13,316	1,909	14.4	200	1.3	2.9
59 有松町	1,527	478	31.3	2,005	785	39.2	64.2	1.3	7.9
60 大高町	4,399	1,178	26.8	4,866	1,571	32.3	84.2	1.2	5.5
61 上野町	6,772	1,777	26.3	8,466	2,663	31.4	52.3	1.2	5.1
62 須賀町	7,009	1,390	19.8	8,233	1,863	22.6	38.6	1.1	2.8
63 知多町	15,068	2,150	14.2	17,561	3,178	18.1	41.2	1.3	3.9
64 内海町	3,232	76	2.4	3,371	68	20	△	0.8	△ 0.4
65 豊浜町	3,752	46	1.4	3,894	60	1.5	9.9	1.1	0.1
66 神崎町	2,797	30	11	2,793	28	10	△	0.9	△ 0.1
69 美浜町	8,360	420	50	9,678	608	6.3	14.3	1.3	1.3
70 武豊町	6,966	492	7.1	8,712	789	9.1	17.0	1.3	2.0
71 高浜町	8,314	235	2.8	10,283	413	4.0	9.0	1.4	1.2
72 桜井町	5,720	176	31	5,940	283	4.8	48.6	1.5	1.7
73 六ツ美町	5,874	84	14	5,721	184	3.2	△	2.3	1.8
74 上郷村	5,300	95	1.8	6,175	168	2.7	8.3	1.5	0.9
75 高岡町	8,030	317	39	9,427	437	4.6	8.6	1.2	0.7
76 知立町	8,036	574	7.1	10,277	1,014	9.8	19.6	1.4	2.7
77 一色町	11,617	62	0.6	11,525	116	1.0	△	1.7	0.4

市 町 村	A	B	C = E/A	D	E	F = E/D	$E - \frac{B}{D-A}$	F/C	F-C	
78 吉 良 町	9,750	105	11	10,399	197	1.9	142	1.7	0.8	
79 幡 豆 町	6,206	58	0.9	6,256	56	0.9	△	1.0	△ 0.0	
80 幸 田 町	9,315	143	1.5	9,580	259	2.8	43.8	1.9	1.3	
81 額 田 町	5,823	22	0.4	5,855	41	0.7	59.4	1.8	0.3	
82 三 好 町	4,233	109	2.6	4,913	217	4.4	15.9	1.7	1.8	
83 猿 投 町	10,133	222	2.2	11,099	310	2.8	9.1	1.3	0.6	
84 藤 岡 村	2,923	27	0.9	2,899	31	1.1	△	1.2	0.2	
85 小 原 村	3,831	11	0.3	3,669	10	0.3	△	1.0	0.0	
86 足 助 町	7,746	31	0.4	7,580	30	0.4	△	1.0	0.0	
87 松 平 村	4,087	10	0.2	4,303	26	0.6	7.4	3.0	0.4	
96 鳳 来 町	10,930			10,328	42	0.4	△			
98 音 羽 町	2,644	94	3.6	2,862	142	5.0	22.0	1.4	1.4	
99 一 宮 村	5,034	36	0.7	5,220	46	0.9	5.4	1.3	0.2	
100 小 坂 井 町	5,756	113	2.0	6,522	220	3.4	14.0	1.7	1.4	
101 御 津 町	6,038	67	1.1	6,578	125	1.9	10.7	1.7	0.8	
102 形 原 町	5,688	31	0.5	6,407	50	0.8	2.6	1.6	0.3	
103 西 浦 町	3,077	14	0.5	3,587	22	0.6	1.6	1.2	0.1	
104 田 原 町	13,406	38	0.3	13,485	51	0.4	16.5	1.3	0.1	
岐 阜										
1 岐 阜 市	119,080	2,699	2.2	146,504	4,700	3.2	7.3	1.5	1.0	
2 大 垣 市	45,228	733	1.6	52,284	990	1.9	3.6	1.2	0.3	
4 多 治 見 市	22,138	856	3.9	28,019	1,079	3.8	3.8	1.0	△ 0.1	
5 関 市	19,080	96	0.5	21,997	74	0.3	△	0.6	△ 0.2	
6 中 津 川 市	21,578	143	0.7	22,834	106	0.5	△	0.7	△ 0.2	
7 美 濃 市	13,905	42	0.3	13,367	43	0.3	△	1.0	0.0	
8 瑞 浪 市	17,346	286	1.7	19,223	355	1.8	3.7	1.1	0.1	
9 羽 島 市	19,011	302	1.6	22,605	407	1.8	2.9	1.1	0.2	
10 恵 那 市	14,567	175	1.2	15,120	86	0.6		0.5	△ 0.6	
11 美 濃 加 茂 市	15,165	176	1.2	15,493	191	1.2	4.6	1.0	0.0	
12 土 岐 市	23,786	304	1.3	29,295	387	1.3	1.5	1.0	0.0	
13 那 加 町	6,823	143	2.1	10,839	230	2.1	2.2	1.0	0.0	
14 稻 羽 町	4,677	36	0.8	5,271	48	0.9	0.8	1.1	0.1	
15 鷺 沼 町	6,406	186	2.9	7,998	287	3.6	6.3	1.2	1.0	
16 蘇 原 町	4,371	92	2.1	5,523	133	2.4	3.6	1.1	0.3	
17 川 島 町	3,051	36	1.2	3,553	41	1.1	1.0	0.9	△ 0.1	
18 岐 南 町	3,308	57	1.7	3,801	77	2.0	4.1	1.1	0.3	
19 笠 松 町	7,782	219	2.8	9,226	382	4.1	11.3	1.5	1.3	
20 柳 津 町	2,472	38	1.5	4,852	59	1.2	0.9	0.8	△ 0.3	
21 海 津 町	6,435	57	0.9	6,505	67	1.0	14.3	1.1	0.1	
22 平 田 町	4,338	29	0.7	4,231	35	0.8		1.1	0.1	

市 町 村	A	B	$C=B/A$	D	E	$F=E/D$	$\frac{E-B}{D-A}$	F/C	F-C	
23南濃町	6046	217	3.6	6547	264	4.1	94	1.1	0.5	
24養老町	13900	88	0.6	13756	132	1.0		1.7	0.4	
26垂井町	10081	118	12	9718	127	13		1.1	0.1	
27赤坂町	5,170	47	0.9	6,054	45	0.7		0.8	△ 0.2	
28関ヶ原町	5,544	50	0.9	5,635	75	1.3	27.5	14	0.4	
29神戸町	5,588	60	1.1	6,729	73	1.1	1.1	1.0	0.0	
30輪之内町	4,099			4,185	8	0.2				
31安八町	4,669	23	0.5	4,772	16	0.3		0.6	△ 0.2	
32墨俣町	1,511	16	1.1	1,967	40	2.0	5.3	1.8	0.9	
33揖斐川町	7,246	51	0.7	8,137	32	0.4				
35大野町				8,159	32	0.4				
36池田町				7,929	67	0.8				
42北方町				3,177	49	1.5				
43本巢町				3,372	6	0.2				
45穂積町				5,939	183	3.1				
46巢南町				2,879	45	1.5				
47真正村	2,970	38	1.3	3,302	45	1.4	2.1	1.1	0.1	
48糸貫村	2,266	10	0.4	4,248	32	0.8	1.1	2.0	0.4	
50高富村	5,607	38	0.7	5,416	33	0.6		0.9	△ 0.1	
51三輪村				3,528	9	0.4				
66坂祝村	2,451	41	1.7	2,528	40	1.6		0.9	△ 0.1	
68川辺町	4,664	45	1.0	4,614	64	1.4		1.4	0.4	
70八百津町				9,002	175	1.9				
73御嵩町	6,906	131	1.9	7,440	205	2.7	13.9	1.4	0.8	
74可児町	12,751	272	2.1	12,998	373	2.9	40.9	1.4	0.8	
75兼山町	718	26	3.6	841	39	4.7	10.6	1.3	1.1	
76笠原町	3,654	30	0.8	7,573	30	0.4		0.5	△ 0.4	
77坂下町	2,979	11	0.4	2,977	9	0.3			△ 0.1	
91金山町				5,533	9	0.2				
三 重										
1津市	46,836	377	0.7	51,263	619	1.2	35	1.7	0.5	
2四日市市	83,013	1,891	2.3	96,451	2,361	2.4	3.5	1.0	0.1	
3伊勢市				45,251	87	0.2				
4松坂市				47,516	180	0.4				
5桑名市	27,719	1,523	5.5	32,241	2,398	7.5	19.3	1.4	2.0	
6上野市				31,461	18	0.1				
7鈴鹿市				47,020	762	1.6				
10亀山市				15,735	156	1.0				
13多度町	4,992	164	3.3	5,229	235	4.5	30.0	1.4	1.2	
14長島町				4,785	396	8.2				

市 町 村	A	B	$C=B/A$	D	E	$F=ED$	$E-B/D-A$	F/C	$F-C$
15 木曾岬町	1,715	50	2.9	2,019	88	4.4	125	15	15
16 北勢町				6,429	52	0.8			
17 員弁町	3,444	52	1.5	3,915	85	2.2	70	15	0.7
18 大安町				2,791	43	1.5			
19 東員村	4,594	36	0.8	4,739	98	2.1	428	2.6	1.3
20 藤原村	4,960	18	0.4	5,022	21	0.4	48	1.0	0.0
21 石加村				3,298	18	0.5			
22 孤野町				11,097	59	0.5			
23 楠町	5,635	71	1.3	5,954	80	1.3	28	1.0	0.0
24 朝日町	2,242	68	3.0	2,772	123	4.4	104	1.5	1.4
25 川越村	3,568	103	2.9	4,537	146	3.2	4.4	1.1	0.3
26 関町				3,731	12	0.3			
27 鈴峰村				3,441	12	0.3			
28 河芸町				5,153	61	1.2			
29 芸濃町				4,878	14	0.3			
31 安濃村				4,818	8	0.2			
32 豊里村				2,979	10	0.3			
33 久居町				14,177	91	0.6			
34 香良洲町				2,644	16	0.6			
35 一志町				5,808	19	0.3			
36 白山町				7,042	9	0.1			
37 嬉野町				7,108	26	0.4			
39 三雲町				4,432	12	0.1			
43 明和町					16				
静岡									
1 静岡市					11				
2 浜松町					71				
15 藤枝町					10				
44 蒲原町					14				
46 興津町					25				
88 新居町					13				
89 湖西町					29				
95 三ヶ日町					12				

表2 都市エネルギーの分析表

	人口規模と伸長率				工業規模と伸長率				L.Q.=10 (工業の種類による)	商業規模と伸長率			産業特化係数(L.Q.) = $\frac{e_i/et}{E_i/ET}$ (S 35.)								
	人 (昭39.)	35 /30	39 /35	39 /30	出荷額 (昭38)	35 /30	38 /35	38 /30		従業者 (昭35.)	年間販売額 (昭35.)	人口 1人当	鉱	建	製	卸小	金保	不動産	運通	電カ水	サービス業
名古屋市	1906(43)	119.2	116	139	8,543(39)	238	140	332	皮革(2.48)他14	2205(57)	19135(83)	3.7	0.03	0.72	1.19	1.05	1.08	1.30	1.03	1.31	0.71
岡崎市	189(43)	107	113	123	664(30)	186	157	292	化(4.33)他5	122(32)	214(09)	2.0	0.25	0.79	1.38	0.84	0.90	0.46	0.67	1.73	0.81
一宮市	197(45)	116	108	126	1303(60)	221	128	284	織(3.90)1	151(3.9)	1160(50)	2.0	0.10	0.29	1.96	0.64	0.48	0.11	0.45	0.61	0.42
瀬戸市	86	111	105	117	203	210	120	262	土石(11.0)他2	055	79	1.0	1.08	0.27	1.93	0.56	0.52	0.11	0.50	0.43	0.47
半田市	75	105	106	112	357	152	142	215	鉄(3.36)他3	0.47	108	24	-	0.62	1.58	0.71	0.85	0.16	0.77	1.59	0.67
春日井市	108	111	141	156	400	435	235	1020	紙(15.1)他7	0.29	28	15	0.49	1.14	1.46	0.69	0.43	0.43	0.64	1.44	0.80
津島市	46	106	107	113	231	147	124	182	織(3.4)他1	0.31	61	1.9	-	0.44	1.82	0.66	0.77	0.11	0.46	1.11	0.54
碧南市	53	105	106	110	152	294	113	355	食(2.0)他6	0.31	51	2.1	0.14	0.42	1.77	0.69	0.64	0.14	0.46	0.18	0.63
刈谷市	68	113	115	130	744(3.4)	441	141	625	機(2.46)他2	0.34	38	3.4	0.04	0.77	1.95	0.42	0.40	0.16	0.76	0.82	0.41
豊田市	76	113	162	185	2027(9.4)	621	191	1,190	輪(6.6)他1	0.31	41	3.4	0.34	0.68	1.80	0.51	0.37	0.30	0.94	0.71	0.50
安城市	63	104	112	117	342	195	199	388	機(3.7)他5	0.29	68	4.2	0.31	0.31	1.59	0.68	0.41	0.30	0.43	0.27	0.91
西尾市	69	102	103	105	145	240	141	341	鉄(4.18)他5	0.39	51	2.0	0.10	0.62	1.65	0.73	0.76	0.16	0.55	0.49	0.67
犬山市	41	107	109	116	121	161	168	270	紙(6.9)他4	0.23	24	2.2	-	0.88	1.17	0.91	0.30	0.35	1.30	1.20	0.94
常滑市	53	110	103	114	181	231	118	273	土石(8.2)他1	0.28	51	1.7	0.12	0.47	2.01	0.50	0.30	0.08	0.25	0.18	0.61
江南市	57	112	116	131	210	236	159	376	織(2.9)他4	0.25	43	1.9	0.54	0.47	1.88	0.58	0.30	0.11	0.25	0.18	0.70
尾西市	54	116	106	123	525(2.4)	170	106	180	織(4.0)のみ	0.16	19	0.7	-	0.21	2.50	0.22	0.29	-	0.05	0.12	0.26
小牧市	58	116	133	155	204	307	946	2,910	ゴム(17.3)他8	0.17	22	3.4	0.16	0.61	0.89	1.14	1.35	0.32	0.67	0.57	1.44
稲沢市	61	110	119	132	264	181	190	356	非鉄(5.1)他2	0.17	14	0.9	-	0.39	1.46	0.50	0.18	0.05	0.26	0.20	0.64
岐阜市	345(7.8)	112	110	124	687(3.2)	190	174	330	衣(9.9)他7	3.56(9.2)	1140(49)	33	0.12	0.75	1.02	1.21	1.52	0.97	0.71	1.09	0.88
大垣市	109(2.5)	109	107	116	639(3.0)	168	141	236	化(2.4)他3	0.81	163	2.6	0.15	1.05	1.51	0.68	0.65	0.14	0.91	0.61	0.67
多治見市	59	114	110	125	130	261	143	374	土石(13.8)他2	0.54	104	3.2	0.38	0.34	1.59	0.81	0.86	0.11	0.72	1.16	0.62
関市	44	105	104	110	96	274	162	445	金(2.19)他1	0.24	31	2.7	0.04	0.67	1.57	0.74	0.78	0.62	0.42	1.99	0.79
羽島市	4.5	107	109	117	214	332	150	498	織(3.5)他1	0.17	35	2.0	-	0.36	1.95	0.59	0.41	0.05	0.26	-	1.63
美濃加茂市	3.2	99	105	104	27	149	232	348	土石(2.0)他6	0.19	19	2.7	0.12	1.18	0.52	1.10	0.94	0.62	2.17	1.20	1.28
土岐市	5.8	110	105	112	138	228	161	366	土石(14.3)のみ	0.41	54	1.6	0.35	0.32	1.95	0.65	0.37	0.03	0.28	0.22	0.49
各務原市	6.1	115	109	125	277	132	312	411	輪(3.4)家(4.5)	0.19	11										
四日市市	214(4.7)	109	109	119	1908(8.8)	202	174	352	石油(13.3)他2	1.64(4.2)	302(13)	4.1	0.04	1.22	1.44	0.73	0.68	0.41	0.99	1.04	0.59
桑名市	73	109	116	116	349	220	157	345	機(4.7)鉄(5.6)他5	0.55	108	4.2	0.17	1.12	1.61	0.73	0.60	0.19	0.54	0.63	0.55
鈴鹿市	98	104	105	113	538	456	262	1,200	輪(4.7)のみ	0.18	68	1.8									
計	4425				21652(3.7)の73%					38.63	23274										

(注) 1. 工業のL.Q.は出荷額により東海3県のベースから算出
 2. 産業特化係数は就業者により全国ベースから算出
 3. 人口、工業出荷額、商業従業者、年間販売額の%は29都市の合計に対する比率を示す。
 とくに中核都市名古屋市の占める比重を見ようとしている。

表3 産業特化係数(LQ)表

(変 知)

(資料は昭和35年事業所統計)

Location Quotient 算出表

市町村名	構成比 LQ	総計	D 鉱業	E 建設業	F 製造業	G 卸・小売業	H 金融業	I 娯楽業	不動産業	J 運輸通信業	K 電気水道 業	L サービス業
全 国	就業者 構成比(a)	99.98	1.98	746	3478	2643	306	0.37	846	0.82	1662	
名古屋市	就業者 構成比(b) LQ(Ly/a)	100.00	0.05 0.03	540 0.72	4143 1.19	2774 1.05	331 1.08	0.48 1.30	868 1.03	1.07 1.31	1184 0.71	
千種区		100.00	0.12 0.06	1239 1.66	2778 0.80	2782 1.05	2.05 0.67	0.82 2.21	5.31 0.63	10.4 1.27	22.67 1.36	
東 区		99.99	0.32 0.16	4.67 0.63	4690 1.35	2307 0.87	1.43 0.47	0.83 2.24	8.27 0.98	0.66 0.81	13.84 0.83	
北 区		100.00	0.12 0.06	5.05 0.68	6005 1.73	1827 0.69	1.13 0.37	0.26 0.70	31.2 0.37	0.21 0.26	11.79 0.71	
西 区		100.00	0.06 0.03	3.76 0.50	5697 1.64	2410 0.91	1.06 0.35	0.20 0.54	4.81 0.57	0.20 0.24	8.84 0.53	
中 村 区		100.00	-	4.86 0.65	2345 0.67	3730 1.41	320 1.05	0.80 2.16	17.45 2.07	0.21 0.26	12.73 0.77	
中 区		100.02	0.00	68.8 0.92	1474 0.42	4661 1.76	10.13 3.30	0.64 1.73	7.43 0.88	2.01 2.45	11.58 0.70	
昭 和 区		100.00	0.09 0.05	4.54 0.61	3989 1.15	2603 0.98	1.20 0.39	0.43 1.16	6.16 0.73	0.14 0.17	21.52 1.29	
瑞穂区		100.00	-	4.33 0.58	5634 1.62	2149 0.81	1.01 0.33	0.46 1.24	2.16 0.26	1.25 1.53	12.96 0.78	
熱田区		100.01	x	4.44 0.59	5384 1.55	2006 0.76	1.54 0.50	0.24 0.65	9.62 1.14	2.16 2.64	8.11 0.49	
中川区		100.00	-	3.84 0.51	6163 1.77	1548 0.59	1.03 0.34	0.15 0.41	9.82 1.16	0.19 0.23	7.86 0.47	
港 区		99.98	x	6.90 0.92	5753 1.65	7.64 0.29	0.24 0.08	0.09 0.24	18.87 2.23	3.08 3.76	5.63 0.34	
南 区		99.99	x	2.66 0.36	6308 1.81	1757 0.66	0.86 0.28	0.44 1.19	3.12 0.37	0.16 0.20	12.10 0.73	
豊橋市		100.00	0.45 0.23	6.03 0.81	40.21 1.16	27.86 1.05	3.21 1.05	0.26 0.70	6.66 0.79	0.84 1.02	14.48 0.37	
岡崎市		100.00	0.50 0.25	5.92 0.79	47.98 1.38	22.15 0.84	2.75 0.90	0.17 0.46	5.68 0.67	1.42 1.73	13.43 0.81	
一宮市		100.00	0.19 0.10	2.14 0.29	68.03 1.96	16.86 0.64	1.48 0.48	0.04 0.11	3.77 0.45	0.50 0.61	6.99 0.42	
瀬戸市		100.00	2.13 1.08	2.01 0.27	66.96 1.93	14.85 0.56	1.59 0.52	0.04 0.11	4.20 0.50	0.35 0.43	7.87 0.47	
半田市		100.01	-	4.62 0.62	54.84 1.58	18.89 0.71	2.59 0.85	0.06 0.16	6.54 0.77	1.30 1.59	11.17 0.67	
春日井市		100.00	0.98 0.49	8.53 1.14	50.77 1.46	18.34 0.69	1.33 0.43	0.16 0.43	5.43 0.64	1.18 1.44	13.28 0.80	
豊川市			-	4.84 0.65	39.67 1.14	26.06 0.99	2.28 0.75	0.44 1.19	6.71 0.79	0.42 0.51	19.59 1.18	

市町村名	構成比 L Q	総計	D 鉱業	E 建設業	F 製造業	G 卸小売業	H 金融保険業	I 不動産業	J 運輸通信業	K 電ガ水道業	L サービス業
津島市			-	3.31 0.44	6323 1.82	17.34 0.66	2.37 0.77	0.04 0.11	3.86 0.46	0.91 1.11	8.94 0.54
碧南市			0.28 0.14	3.17 0.42	6168 1.77	18.35 0.69	1.97 0.64	0.05 0.14	3.86 0.46	0.15 0.18	10.50 0.63
刈谷市			0.07 0.04	5.76 0.77	6796 1.95	10.97 0.42	1.21 0.40	0.06 0.16	6.41 0.76	0.67 0.82	6.89 0.41
豊田市			0.67 0.34	5.10 0.68	6273 1.80	13.41 0.51	1.13 0.37	0.11 0.30	7.94 0.94	0.58 0.71	8.33 0.50
安城市			0.62 0.31	6.03 0.81	5514 1.59	17.86 0.68	1.26 0.41	0.11 0.30	3.61 0.43	0.22 0.27	15.16 0.91
西尾市			0.19 0.10	4.62 0.62	5738 1.65	19.22 0.73	2.34 0.76	0.06 0.16	4.62 0.55	0.40 0.49	11.18 0.67
蒲郡市			-	3.78 0.51	60.00 1.73	16.27 0.62	2.42 0.79	0.13 0.35	5.33 0.63	0.21 0.26	11.87 0.71
犬山市			X	6.56 0.88	40.73 1.17	23.99 0.91	0.93 0.30	0.13 0.35	11.00 1.30	0.98 1.20	15.69 0.94
常滑市			0.24 0.12	3.51 0.47	6975 2.01	13.27 0.50	0.92 0.30	0.03 0.08	2.08 0.25	0.15 0.18	10.06 0.61
守山市			0.12 0.06	3.23 0.43	5363 1.54	18.39 0.70	1.31 0.43	0.56 1.51	4.68 0.55	0.18 0.22	18.00 1.08
江南市			1.07 0.54	3.51 0.47	65.22 1.88	15.37 0.58	0.93 0.30	0.04 0.11	2.10 0.25	0.15 0.18	11.62 0.70
尾西市			-	1.54 0.21	86.90 2.50	5.84 0.22	0.90 0.29	-	0.46 0.05	0.10 0.12	4.25 0.26
小牧市			0.32 0.16	4.58 0.61	3079 0.89	30.02 1.14	4.13 1.35	0.12 0.32	5.69 0.67	0.47 0.57	23.88 1.44
稻沢市			-	2.89 0.39	5093 1.46	13.16 0.50	0.56 0.18	0.02 0.05	21.69 2.56	0.16 0.20	10.59 0.64
新城市			0.15 0.08	5.84 0.78	20.13 0.58	33.65 1.27	2.41 0.79	0.05 0.14	9.23 1.09	1.50 1.83	27.03 1.63
鳴海町		100.02	-	2.52 0.34	48.46 1.39	18.84 0.71	1.42 0.46	0.37 1.00	9.51 1.12	0.53 0.65	18.37 1.11
豊明町			X	5.55 0.74	40.66 1.17	25.39 0.96	X	0.23 0.62	2.20 0.26	X	25.33 1.52
東郷町			2.14 1.08	7.77 1.04	40.04 1.15	14.06 0.53	-	-	1.61 0.19	X	34.41 2.07
日進町		99.97	-	2.24 0.30	35.63 1.02	26.47 1.09	0.31 0.10	-	3.56 0.42	7.84 9.56	23.92 1.44
長久手村		100.01	-	2.81 0.38	27.23 0.78	32.51 1.23	-	-	4.95 0.59	X	32.51 1.96
旭町		100.02	0.73 0.37	1.67 0.22	77.62 2.23	8.57 0.32	0.87 0.28	0.09 0.24	2.19 0.26	0.05 0.06	8.23 0.50
西枇杷島町		100.01	-	3.55 0.48	71.68 2.06	11.26 0.43	0.50 0.16	0.19 0.51	7.11 0.84	X	5.72 0.34
豊山村		99.98	-	2.97 0.40	70.10 2.02	6.92 0.26	X	-	10.00 1.18	0.59 0.72	9.40 0.57

市町村名	構成比 L/Q	総計	D 鉱業	E 建設業	F 製造業	G 卸小売業	H 金融保険業	I 不動産業	J 運輸通信業	K 電力水道業	L サービス業
北里村			-	X	28.11 0.81	29.49 1.12	41.5 1.36	-	X	1.38 1.68	35.02 2.11
師勝村			-	2.08 0.28	78.16 2.25	10.70 0.40	X	-	-	X	8.23 0.50
西春村		100.05	-	4.16 0.56	13.2 1.48	19.47 0.74	-	0.12 11.4	6.25 0.74	0.42 0.51	18.01 1.08
春日村			-	-	81.70 2.35	7.13 0.27	X	-	-	-	11.18 0.67
清洲町		99.99	-	1.24 0.17	63.74 1.83	19.62 0.74	0.51 0.17	-	2.42 0.29	-	12.46 0.75
新川町		100.02	-	2.62 0.35	73.01 2.10	9.54 0.36	1.20 0.39	0.11 0.30	9.11 1.03	X	4.43 0.27
大口村		100.00	-	2.16 0.29	82.40 2.37	6.66 0.25	X	0.09 0.24	0.52 0.07	-	8.07 0.49
扶桑町		100.00	0.09 0.05	4.28 0.57	60.87 1.75	18.20 0.69	0.56 0.18	0.24 0.65	2.59 0.31	X	13.17 0.79
岩倉町		100.00	-	2.00 0.27	55.74 1.60	18.47 0.70	1.12 0.37	X	8.79 1.04	3.49 4.26	10.39 0.63
木曾川町		99.99	-	1.04 0.14	82.34 2.37	7.28 0.28	1.11 0.36	0.04 0.11	2.48 0.29	-	5.70 0.34
祖父江町		100.00	-	4.47 0.60	69.62 2.00	13.81 0.52	0.12 0.04	-	2.32 0.27	6.14 0.17	9.52 0.57
平和町		100.00	-	1.39 0.19	74.36 2.14	13.25 0.50	1.02 0.33	-	2.09 0.25	X	7.89 0.47
七宝町		100.02	-	3.58 0.48	45.18 1.30	19.01 0.72	X	-	2.80 0.33	-	29.45 1.77
美和町		100.00	-	3.91 0.52	38.36 1.10	28.30 1.07	1.90 0.62	X	6.60 0.78	-	20.93 1.26
甚目寺町		100.00	-	3.83 0.51	67.35 1.94	14.48 0.55	X	0.32 0.87	2.00 0.24	-	12.02 0.72
大治村		99.62	-	5.13 0.69	61.07 1.76	15.44 0.60	X	-	X	-	17.43 1.05
蟹江町		100.01	-	16.95 2.27	42.38 1.22	22.98 0.87	0.84 0.27	0.05 0.14	5.39 0.64	0.59 0.72	10.83 0.65
十四山村		100.01	-	2.54 0.34	33.24 0.96	30.99 1.17	-	-	6.20 0.73	-	27.04 1.63
飛島村		100.03	-	78.29 10.49	5.49 0.16	9.65 0.37	-	-	X	-	6.59 0.40
淵富町		100.09	-	15.71 2.10	43.18 1.24	19.95 0.75	1.33 0.43	-	4.85 0.57	0.11 0.13	14.97 0.90
佐屋町		100.01	-	4.42 0.59	78.26 2.25	7.86 0.30	X	0.09 0.21	1.18 0.14	-	8.20 0.49
立田村		100.69	-	3.06 0.41	78.60 2.26	5.52 0.21	X	-	X	-	13.51 0.81
八開村		100.00	-	5.00 0.67	24.09 0.69	26.82 1.01	-	-	4.09 0.48	-	40.00 2.41

市 町 村 名	構成比 L Q	総 計	D	E	F	G	H	I	J	K	L
			鉱 業	建設業	製造業	卸小売業	金融保険業	不動産業	運輸通信業	電力水道業	サービス業
佐 織 町		10001	-	107 014	8753 252	649 025	006 002	-	044 005	-	4000 027
阿久比町		10000	-	254 034	7819 225	1072 041	-	-	094 011	-	761 046
東 浦 町		9975	X	130 017	8217 236	806 030	X	014 040	178 021	-	630 033
大 府 町		10006	-	257 034	6894 198	948 036	038 012	006 018	329 039	159 194	1375 083
有 松 町		10002	-	214 029	2054 059	4394 166	304 099	125 338	661 078	-	2250 135
大 高 町		10006	-	662 089	5915 170	1553 059	081 026	051 138	454 054	119 145	1171 079
上 野 町		10007	-	677 091	6481 186	1447 055	027 009	025 068	307 036	010 012	1033 062
横 須 賀 町		9997	X	618 083	3824 110	2824 107	162 053	019 051	891 105	053 065	1606 997
知 多 町		9997	-	266 036	5907 170	1982 075	029 009	023 062	435 051	018 022	1337 080
武 豊 町		10006	029 015	1062 142	5855 168	1425 054	144 047	014 038	429 051	008 010	1040 063
高 浜 町		10001	056 028	281 038	6501 187	1562 059	116 038	004 011	474 055	014 017	993 060
桜 井 町		10001	170 086	436 058	6786 195	1151 044	069 023	-	183 022	055 067	1151 069
六ッ美町		9998	-	2444 328	1532 044	2917 110	115 038	-	315 037	063 077	2612 157
上 郷 町		10001	-	1426 191	4032 116	2134 081	043 014	-	200 024	011 013	2155 130
知 立 町		10001	022 011	380 051	5105 147	2569 097	117 038	015 042	495 059	007	1291 078
三 好 町		10003	073 037	593 079	2394 066	3716 141	155 051	-	405 048	X	2655 160
藤 岡 町		10001	2477 1251	1046 140	2543 073	1663 063	119 039	-	758 090	X	1390 984
小 原 村		10000	737 372	607 081	2774 080	2009 076	058 019	-	347 041	332 405	3136 189
旗 投 町		10003	1700 859	763 102	3178 091	1627 062	X	-	631 075	060 073	2441 123
松 平 村		10020	158 080	278 037	7591 218	1061 040	-	-	141 017	017 021	774 047
高 岡 町		10001	-	383 051	3196 092	2406 091	174 057	-	958 113	X	2884 174

(岐 阜)

市 町 村 名	構成比 L Q	統 計	D 鉱 業	E 建設業	F 製造業	G 卸小売業	H 金融保険業	I 不動産業	J 運輸通信業	K 電ガ水業	L サービス業
岐 阜 市		99.99	0.23 0.12	5.62 0.75	35.50 1.02	32.10 1.21	4.65 1.52	0.36 0.97	6.01 0.71	0.89 1.09	14.63 0.88
大 垣 市		100.01	0.30 0.15	7.84 1.05	52.48 1.51	17.94 0.68	1.98 0.65	0.05 0.14	7.73 0.91	0.50 0.61	11.19 0.67
多 治 見 市		100.00	0.75 0.38	2.50 0.34	55.24 1.59	21.40 0.81	2.64 0.86	0.04 0.11	6.13 0.72	0.95 1.16	10.35 0.62
関 市		99.99	0.07 0.04	5.03 0.67	54.68 1.57	19.45 0.74	2.40 0.78	0.23 0.62	3.36 0.40	1.63 1.99	13.14 0.79
羽 島 市		99.98	X 0.36	2.72 0.36	67.80 1.95	15.55 0.59	1.25 0.41	0.02 0.05	2.17 0.26	X	10.47 0.63
美濃加茂市		100.00	0.24 0.12	8.81 1.18	17.96 0.52	29.17 1.10	2.88 0.94	0.22 0.62	18.39 2.17	0.98 1.20	21.35 1.28
土 岐 市		100.01	0.69 0.35	2.36 0.32	67.93 1.95	17.28 0.65	1.14 0.37	0.01 0.03	2.35 0.28	0.18 0.22	8.07 0.49
那 加 町		99.99	- 0.34	2.52 0.34	26.09 0.75	23.87 0.90	1.84 0.60	0.08 0.22	6.59 0.78	0.37 0.40	38.63 2.32
稲 羽 町		99.99	0.76 0.38	3.93 0.53	77.10 2.22	9.33 0.35	0.15 0.05	- 0.05	0.46 0.05	-	8.26 0.05
隼 沼 町		99.91	- 1.15	8.61 1.15	52.90 1.52	15.05 0.57	-	X	9.52 1.13	X	13.83 0.83
蘇 原 町		100.00	- 0.06	0.47 0.06	86.80 2.50	5.06 0.19	-	X	0.63 0.07	X	7.04 0.42
川 島 町		100.00	- 0.73	5.41 0.73	85.62 24.6	4.55 0.17	-	-	X	0.12 0.13	4.30 0.26
岐 南 町		99.46	X 0.67	4.97 0.67	75.06 21.6	4.90 0.19	0.47 0.15	-	X	X	14.06 0.85
笠 松 町		99.99	0.56 0.28	3.12 0.42	61.97 1.78	18.94 0.72	1.83 0.60	0.07 0.19	3.36 0.40	0.49 0.60	9.65 0.58
柳 津 町		100.00	X 0.27	2.01 0.27	84.22 24.2	7.26 0.27	0.09 0.03	0.25 0.68	1.08 0.13	-	5.09 0.31
海 津 町		99.97	X 1.38	10.27 1.38	5.02 0.14	40.29 15.2	2.05 0.67	-	6.73 0.80	-	35.61 2.14
平 田 町		100.02	- 1.37	10.19 1.37	11.38 0.33	50.86 1.92	2.16 0.71	-	3.79 0.45	X	21.64 1.30
南 濃 町		100.00	- 0.96	7.19 0.96	53.31 1.53	21.21 0.80	-	-	2.16 0.26	-	16.13 0.97
養 老 町		100.05	- 0.92	6.86 0.92	37.76 1.09	26.34 1.00	2.33 0.76	X	2.84 0.34	X	23.92 1.44
輪 之 内 町		100.00	- 1.45	10.85 1.45	4.40 0.13	29.09 1.10	-	-	3.30 0.39	-	52.36 3.15
安 八 町		98.10	X 1.09	8.14 1.09	24.43 0.70	26.89 1.02	X	-	1.52 0.18	-	37.12 2.23
墨 俣 町		100.00	- 0.25	37.03 0.25	37.03 1.06	28.71 1.09	2.00 0.65	X	5.88 0.70	0.22 0.27	24.28 1.46

市町村名	構成比 L Q	総計	D 鉱業	E 建設業	F 製造業	G 卸小売業	H 金融保険業	I 不動産業	J 運輸通信業	K 電気水業	L サービス業
北方町		100.11	-	296 0.40	2589 0.74	3816 14.4	388 1.27	-	475 0.56	2.71 3.31	2176 1.31
榎楨町		100.00	-	0.70 0.09	6512 1.87	1709 0.65	-	1.00 2.70	3.11 0.37	-	1298 0.78
果南村		100.00	-	0.85 0.11	1795 0.52	4017 15.2	-	-	4.56 0.54	-	3647 2.19
真正村		100.00	-	25.40 3.40	1675 0.48	16.23 0.61	0.88 0.29	-	1.59 0.19	X	3915 2.36
三輪村		100.01	-	14.70 1.97	749 0.22	3430 2.22	-	-	4.90 0.58	-	3862 2.32
坂祝村		100.00	0.64 0.32	2.17 0.29	79.44 2.28	9.80 0.63	-	-	2.09 0.25	-	5.86 0.35
富加村		100.00	-	1.16 0.16	21.04 0.60	41.12 2.66	-	-	6.37 0.75	X	30.31 1.82
御嵩町		100.00	45.36 22.91	9.03 1.21	9.74 0.28	18.26 1.18	0.63 0.21	-	2.07 0.24	0.19 0.23	14.72 0.89
可児町		99.98	16.79 8.48	12.18 1.63	24.81 0.71	17.70 1.14	0.53 0.17	-	12.31 1.46	0.66 0.81	15.00 0.90
笠原町		99.72	-	1.66 0.22	76.98 2.21	16.31 1.05	X	-	1.08 0.13	X	3.69 0.22

(三 重)

市町村名	構成比 L Q	総 計	D 鉱 業	E 建設業	F 製造業	G 卸小売業	H 金融保険業	I 不動産業	J 運輸通信業	K 電力水業	L サービス業
四 日 市 市			0.03 0.04	913 122	5016 144	1926 0.73	2.07 0.68	0.15 0.41	8.40 0.99	0.85 1.04	9.88 0.59
桑 名 市		100.00	0.34 0.17	836 112	5586 1.61	1931 0.73	1.84 0.60	0.07 0.19	456 0.54	0.52 0.63	9.14 0.55
多 度 町			X	786 105	4751 137	2155 0.82	X	-	3.68 0.43	-	17.99 1.08
長 島 町			X	1453 195	1496 0.43	28.63 1.08	11.4 0.37	-	7.12 0.84	X	31.77 1.91
木 曾 岬 村		100.04	-	89.03 11.93	0.83 0.02	1.79 0.07	-	-	X	-	8.39 0.50
北 勢 町			0.71 0.36	1145 153	1598 0.46	3298 1.25	239 0.78	0.20 0.54	921 1.09	X	25.55 1.54
員 弁 町		100.00	1.00 0.51	467 0.63	1436 0.41	43.07 1.63	4.34 1.42	-	6.68 0.79	X	25.83 1.56
大 安 町			-	71.1 0.95	2681 0.77	39.70 1.50	X	-	3.26 0.39	-	23.11 1.39
東 員 村			1.44 0.73	455 0.61	1077 0.31	35.41 1.34	X	-	7.66 0.91	X	37.56 2.26
石 加 村			X	1926 258	1816 0.52	29.03 1.10	X	-	1.69 0.20	1.50 1.83	28.09 1.69
楠 町		100.02	-	3.71 0.50	8269 238	6.50 0.25	0.21 0.07	0.33 0.89	1.88 0.22	X	4.70 0.28
朝 日 町		99.97	0.16 0.08	6.98 0.94	87.11 2.50	3.09 0.12	X	-	0.47 0.06	0.11 0.13	2.05 0.12
川 越 村		99.97	1.14 0.58	1215 1.63	6266 1.80	105.8 0.40	0.24 0.08	-	3.53 0.42	X	9.67 0.58

(備考) ① L Q は従業者数による。

② 市町村名欄の数字の上段は就業者構成比を下段はL Q 値を示す。

③ 名古屋を中心に半径40km圏内116市町村のほか、愛知県豊橋市、蒲郡市、新城市、豊川市が記載されている。

また、名古屋市については区別に算出した。

(表4) L・Q値の階級による市町村分類一覧

鉱業(D)

(1960年事業所統計による)

区分	階級	県	所属市町村 (カッコ内はL・Q値, Xは小数, -は皆無を示す)
0.00-0.39	1	愛知	名古屋市(0.03) 豊橋市(0.23) 岡崎市(0.25) 一宮市(0.10) 半田市(-) 豊川市(-) 津島市(-) 碧南市(0.14) 刈谷市(0.04) 豊田市(0.34) 安城市(0.31) 西尾市(0.10) 蒲郡市(-) 犬山市(X) 常滑市(0.12) 守山市(0.06) 尾西市(-) 小牧市(0.16) 稲沢市(-) 新城市(0.08) 鳴海町(-) 豊明町(X) 日進町(-) 長久手町(-) 西枇杷島町(-) 豊山村(-) 北里村(-) 師橋村(-) 西春村(-) 清洲町(-) 新川町(-) 大口村(-) 扶桑町(0.05) 岩倉町(-) 木曾川町(-) 祖父江町(-) 平和町(-) 七宝町(-) 美和町(-) 甚目寺町(-) 大治村(-) 蟹江町(-) 十津山村(-) 飛島村(-) 瀬高町(-) 佐屋町(-) 立田村(-) 八開村(-) 佐藤町(-) 阿久比町(-) 東浦町(X) 大府町(-) 有松町(-) 大高町(-) 上野町(-) 横須賀町(X) 知多町(-) 武豊町(0.15) 高浜町(0.28) 六ツ美町(-) 上郷村(-) 知立町(0.11) 三好町(0.37) 高岡町(-)
		岐阜	岐阜市(0.37) 大垣市(0.15) 多治見市(0.38) 関市(0.04) 羽島市(X) 美濃加茂市(0.12) 土岐市(0.35) 那加町(-) 稲羽町(0.38) 鷺沼町(-) 蘇原町(-) 川島町(-) 岐南町(X) 笠松町(0.28) 柳津町(X) 海津町(X) 平田町(-) 南濃町(-) 養老町(-) 輪之内町(-) 安八町(X) 墨俣町(-) 北方町(-) 瀬戸町(-) 巣南村(-) 真正村(-) 三輪村(-) 坂祝村(0.32) 富加村(-) 笠原町(-)
		三重	四日市市(0.04) 桑名市(0.17) 多度町(X) 長島町(X) 木曾町(-) 北勢町(0.36) 大安町(-) 石加村(X) 楠町(-) 朝日町(0.08)
0.40-0.79	2	愛知	春日井市(0.49) 江南市(0.54) 旭町(0.37)
		三重	員弁町(0.51) 東員村(0.37) 川越村(0.58)
0.80-1.20	3	愛知	瀬戸市(1.08) 東郷村(1.08) 桜井町(0.86) 松平村(0.80)
1.21-1.60	4		なし
1.61-2.00	5		なし
2.01以上	6	愛知	藤岡村(12.51) 小原村(3.72) 猿投町(8.59)
		岐阜	御嵩町(22.91) 可児町(8.48)

建設業（E）

区分	階級	県	所属市町村（カッコ内はL.Q.値，Xは少数，－は皆無を示す）
0.00-0.39	1	愛知	一宮市(0.29) 瀬戸市(0.27) 尾西市(0.21) 稲沢市(0.39) 鳴海町(0.34) 日進町(0.30) 長久手村(0.38) 池町(0.22) 北里村(X) 鮎掛村(0.28) 春日村(-) 清洲町(0.17) 新川町(0.25) 大口村(0.29) 岩倉町(0.27) 木曾川町(0.14) 平和町(0.19) 十四社村(0.34) 佐藤町(0.14) 阿久比町(0.34) 東浦町(0.17) 大府町(0.34) 有松町(0.29) 知多町(0.36) 高浜町(0.38) 松平村(0.37)
		岐阜	多治見市(0.34) 羽島市(0.36) 土岐市(0.32) 那加町(0.34) 蘇原町(0.06) 柳井町(0.27) 墨俣町(0.25) 徳島町(0.09) 栗南村(0.11) 坂祝村(0.29) 富加村(0.16) 笠原町(0.22)
0.40-0.79	2	愛知	名古屋市(0.72) 岡崎市(0.79) 半田市(0.62) 豊川市(0.65) 津島市(0.44) 刈谷市(0.42) 刈谷市(0.77) 豊田市(0.68) 西尾市(0.62) 蒲郡市(0.51) 常滑市(0.47) 守山市(0.43) 江南市(0.47) 小牧市(0.61) 新城市(0.78) 豊明町(0.74) 西枇杷島町(0.48) 豊山村(0.40) 西春村(0.56) 扶桑町(0.57) 祖父江町(0.60) 七宝町(0.48) 美和町(0.52) 甚目寺町(0.51) 大治村(0.69) 佐兵衛町(0.59) 立田村(0.41) 八開村(0.67) 桜井町(0.58) 三友町(0.66) 高岡町(0.51) 知立町(0.51)
0.40-0.79	2	岐阜	岐阜市(0.75) 関市(0.67) 稲羽町(0.53) 川原町(0.73) 岐阜南町(0.67) 笠松町(0.42) 北方町(0.40)
		三重	東員村(0.61) 桶町(0.50) 員弁町(0.63)
0.80-1.20	3	愛知	豊橋市(0.81) 春日井市(1.14) 安城市(0.81) 犬山市(0.88) 東郷村(1.04) 大高町(0.89) 上野町(0.91) 横須賀町(0.83) 小原村(0.81) 猿投町(1.02)
		岐阜	大垣市(1.05) 美濃加茂市(1.18) 鷺沼町(1.15) 南濃村(0.96) 養老町(0.92) 多八町(1.09)
		三重	桑名市(1.12) 多度町(1.05) 大安町(0.95) 朝日町(0.94)
1.21-1.60	4	愛知	武豊町(1.42) 藤岡村(1.40)
		岐阜	海津町(1.38) 平田町(1.37) 輪之内村(1.45) 御嵩町(1.21)
		三重	四日市市(1.22) 北勢町(1.53)
1.61-2.00	5	愛知	上野村(1.91)
		岐阜	三輪村(1.95) 可児町(1.63)
		三重	長島町(1.95) 川越村(1.63)
2.01以上	6	愛知	蟹江町(2.27) 飛騨村(10.49) 彌富町(2.10) 六ツ美町(3.28)
		岐阜	真正村(3.40)
		三重	木曾岬村(11.93) 石加村(25.8)

製 造 業 (F)

区 分	階級	県	所 属 市 町 村 (カッコ内は L. Q. 値, X は小数, - は皆無を示す)
00 -039	1	愛 知	飛島村 (0.16)
		三 重	木曾岬村 (0.02) 東員村 (0.31)
		岐 阜	海津町 (0.14) 平田町 (0.33) 輪之内村 (0.13) 三輪村 (0.22) 御嵩町 (0.28)
040-079	2	愛 知	新城市 (0.58) 長久手村 (0.78) 八開村 (0.69) 有松町 (0.59) 六ツ美町 (0.44) 三好町 (0.66) 藤岡村 (0.73)
		岐 阜	美濃加茂市 (0.52) 那加町 (0.75) 安八町 (0.70) 北方町 (0.74) 巢南村 (0.52) 真正村 (0.60) 富加村 (0.60) 可児町 (0.71)
		三 重	長島町 (0.43) 北勢町 (0.46) 員弁町 (0.41) 大安町 (0.77) 石加村 (0.52)
080-120	3	愛 知	名古屋市 (1.19) 豊橋市 (1.16) 豊川市 (1.14) 大山市 (1.17) 小牧市 (0.89) 豊明町 (1.17) 東郷村 (1.15) 日進町 (1.02) 北里村 (0.81) 美和村 (1.10) 十四山村 (0.96) 横須賀町 (1.10) 上郷村 (1.16) 小原村 (0.80) 旗本町 (0.91) 高岡町 (0.92)
		岐 阜	岐阜市 (1.02) 養老町 (1.09) 墨俣町 (1.06)
1.21-1.60	4	愛 知	岡崎市 (1.38) 半田市 (1.58) 春日井市 (1.46) 安城市 (1.59) 守山市 (1.54) 稲沢市 (1.46) 鳴海町 (1.39) 西春村 (1.48) 七宝町 (1.30) 蟹江町 (1.22) 瀬富町 (1.24) 知立町 (1.47)
		岐 阜	大垣市 (1.51) 多治見市 (1.59) 関市 (1.57) 瑞穂町 (1.52) 南濃町 (1.53)
		三 重	四日市市 (1.44) 多度町 (1.37)
1.61-2.00	5	愛 知	一宮市 (1.96) 瀬戸市 (1.93) 津島市 (1.82) 碧南市 (1.77) 刈谷市 (1.95) 豊田市 (1.80) 西尾市 (1.65) 蒲郡市 (1.73) 江南市 (1.88) 清洲町 (1.83) 扶桑町 (1.75) 岩倉町 (1.60) 祖父江町 (2.00) 甚目寺町 (1.94) 大治村 (1.76) 大高町 (1.70) 上野町 (1.86) 知多町 (1.70) 武豊町 (1.68) 高浜町 (1.87) 桜井町 (1.95)
		岐 阜	羽島市 (1.95) 土岐市 (1.95) 笠松町 (1.78) 榑原町 (1.87)
		三 重	桑名市 (1.61) 川島村 (1.80)
2.01 以上	6	愛 知	常滑市 (2.01) 尾西市 (2.50) 旭町 (2.23) 西枇杷島町 (2.06) 豊山村 (2.02) 師勝村 (2.25) 春日村 (2.35) 新川町 (2.10) 大和村 (2.37) 木曾川町 (2.37) 平和町 (2.14) 佐屋町 (2.25) 立田村 (2.26) 佐藤町 (2.52) 阿久比町 (2.25) 東蒲村 (2.36) 松平村 (2.18)
		岐 阜	稲羽町 (2.22) 蘇原町 (2.50) 川島町 (2.46) 岐南町 (2.16) 柳津町 (2.42) 坂祝村 (2.28) 笠原町 (2.21)
		三 重	桶町 (2.38) 朝日町 (2.50)

卸小売業（G）

区分	階級	県	所属市町村（カッコ内はL・Q・値，Xは小数，－は皆無を示す）
0.00-0.39	1	愛知	尾西市(0.22) 旭町(0.32) 豊山村(0.26) 春日村(0.27) 新川町(0.36) 大口村(0.25) 木曾川町(0.28) 飛島村(0.37) 佐屋町(0.30) 立田村(0.21) 佐織町(0.25) 東蒲町(0.30) 大岸町(0.36)
		岐阜	稲羽町(0.35) 萩原村(0.19) 川島町(0.17) 岐南町(0.19) 柳津町(0.27)
		三重	木曾町(0.07) 桶町(0.25) 朝日町(0.12)
0.40-0.79	2	愛知	西尾市(0.73) 一宮市(0.64) 瀬戸市(0.56) 半田市(0.71) 春日井市(0.69) 津島市(0.66) 碧南市(0.69) 刈谷市(0.42) 豊田市(0.51) 安城市(0.68) 蒲郡市(0.62) 常滑市(0.50) 守山市(0.70) 江南市(0.58) 稲沢市(0.50) 鳴海町(0.71) 東郷村(0.53) 西枇杷島町(0.43) 師勝村(0.40) 西春村(0.74) 清洲町(0.74) 扶桑町(0.69) 岩倉町(0.70) 祖父江町(0.52) 平和町(0.50) 七宝町(0.72) 甚目寺町(0.55) 大治村(0.60) 瀬富町(0.75) 阿久比町(0.41) 大高町(0.59) 上野町(0.55) 知多町(0.75) 武豊町(0.54) 高浜町(0.59) 桜井町(0.44) 藤岡村(0.63) 小原村(0.76) 猿投町(0.62) 松平村(0.40)
		岐阜	大垣市(0.68) 関市(0.74) 羽島市(0.59) 土岐市(0.65) 豊沼町(0.57) 笠松町(0.72) 穂波町(0.65) 真正村(0.61) 坂祝村(0.63)
		三重	四日市市(0.73) 桑名市(0.73) 川越村(0.40)
0.80-1.20	3	愛知	名古屋市(1.05) 豊橋市(1.05) 岡崎市(0.84) 豊川市(0.99) 犬山市(0.91) 小牧市(1.14) 豊明町(0.96) 日進町(1.00) 北里村(1.12) 美和町(1.07) 盛江町(0.87) 十四山村(1.17) 八開村(1.01) 椿須賀町(1.07) 六ツ美町(1.10) 上郷村(0.81) 知立町(0.97) 高岡町(0.91)
		岐阜	多治見市(0.81) 美濃加茂市(1.10) 那加町(0.90) 南濃町(0.80) 養老町(1.00) 輪之内町(1.10) 安八町(1.02) 墨吳町(1.09) 御嵩町(1.18) 可児町(1.14) 笠原町(1.05)
		三重	多度町(0.82) 長島町(1.08) 石加村(1.10)
1.21-1.60	4	愛知	新城市(1.27) 長久手村(1.23) 三好町(1.41)
		岐阜	岐阜市(1.21) 海津町(1.52) 北方町(1.44) 巣南村(1.52)
		三重	北勢町(1.25) 大安町(1.50) 東員村(1.34)
1.61-2.00	5	愛知	有松町(1.66)
		岐阜	平田町(1.92)
		三重	貞井町(1.63)
2.01以上		岐阜	三輪村(2.22) 富加村(2.66)

金融保険業（H）

区分	階級	県	所属市町村（カッコ内はL・Q・値，Xは少数，－は皆無を示す）
0.00-0.39	1	愛知	豊田市(0.37) 犬山市(0.30) 常滑市(0.30) 江南市(0.30) 尾西市(0.29) 稲沢市(0.18) 豊明町(X) 東郷村(-) 日進町(0.10) 長久手村(-) 旭町(0.28) 西枇杷島町(0.16) 豊山村(X) 師勝村(X) 西春村(-) 春日村(X) 清洲町(0.17) 新川町(0.39) 大口村(X) 扶桑町(0.18) 岩倉町(0.37) 木曾川町(0.36) 祖父江町(0.04) 平和町(0.33) 七宝町(X) 甚目寺町(X) 大治村(X) 蟹江町(0.27) 十四山村(-) 飛島村(-) 佐屋町(X) 立田村(X) 八開村(-) 佐織町(0.02) 阿久比町(-) 東浦町(X) 大府町(0.12) 大高町(0.26) 上野町(0.09) 知多町(0.09) 桜井町(0.23) 六ツ美町(0.38) 上郷村(0.14) 知立町(0.38) 藤岡村(0.39) 小原村(0.19) 辰設町(X) 松平村(-)
		岐阜	土岐市(0.37) 稲羽町(0.05) 鷺沼町(-) 新原町(-) 川島町(-) 岐南町(0.15) 柳津町(0.03) 南濃町(-) 養老町(0.76) 輪之内町(-) 安八町(X) 穂積町(-) 巢南村(-) 真正村(0.29) 三輪村(-) 坂祝村(-) 高加村(-) 御嵩町(0.21) 可児町(0.17) 笠原町(X)
		三重	多度町(X) 長島町(1) 木曾町(-) 大安町(X) 東員村(X) 石加村(X) 椿町(0.07) 朝日町(X) 川越村(0.08)
0.40-0.79	2	愛知	一宮市(0.48) 瀬戸市(0.52) 春日井市(0.43) 豊川市(0.75) 津島市(0.77) 碧南市(0.64) 刈谷市(0.40) 安城市(0.41) 西尾市(0.76) 蒲郡市(0.79) 守山市(0.43) 新城市(0.79) 鳴海町(0.46) 美和町(0.62) 彌富町(0.43) 横須賀町(0.53) 武豊町(0.47) 高浜町(0.38) 高岡町(0.57) 三好町(0.51)
		岐阜	大垣市(0.65) 関市(0.78) 羽島市(0.41) 那加市(0.60) 笠松町(0.60) 海津町(0.67) 平田町(0.71) 墨俣町(0.65)
		三重	四日市市(0.68) 桑名市(0.60) 北勢町(0.78)
0.80-1.20	3	愛知	名古屋市(1.08) 豊橋市(1.05) 岡崎市(0.90) 半田市(0.85) 有松町(0.99)
		岐阜	多治見市(0.86) 美濃加茂市
1.21-1.60	4	愛知	小牧市(1.35) 北里村(1.36)
		岐阜	岐阜市(1.52) 北方町(1.27)
		三重	員弁町(1.42)
1.61-2.00	5		なし
2.01以上			なし

不動産業（I）

区分	階級	県	所属市町村（カッコ内はL、Q、値、Xは小数、－は皆無を示す）
0.00-0.39	1	愛知	一宮市(0.11) 瀬戸市(0.11) 半田市(0.16) 津島市(0.11) 碧南市(0.14) 刈谷市(0.16) 豊田市(0.30) 安城市(0.30) 西尾市(0.16) 蒲郡市(0.35) 大山市(0.35) 常滑市(0.08) 江南市(0.11) 尾西市(-) 小牧市(0.32) 稲沢市(0.05) 新城市(0.32) 稲沢市(0.05) 東郷村(-) 日進町(-) 長久手村(-) 旭町(0.24) 豊山村(-) 北里村(-) 師勝村(-) 春日村(-) 清洲町(-) 新川町(0.30) 大口村(0.24) 岩倉(X) 木曾川町(0.11) 祖父江町(-) 平和町(-) 七宝町(-) 美和町(X) 大治村(-) 蟹江町(0.14) 十四山村(-) 飛鳥村(-) 彌富町(-) 佐屋町(0.21) 立田村(-) 八幡村(-) 佐織町(-) 阿久比町(-) 大原町(0.18) 高浜町(0.11) 桜井町(-) 六ツ美町(-) 上郷村(-) 三好町(-) 藤岡村(-) 小原村(-) 猿投町(-) 松平村(-) 高津町(-)
		岐阜	大垣市(0.14) 多治見市(0.11) 羽島市(0.05) 土岐市(0.03) 那加町(0.22) 稲羽町(-) 鷺沼町(X) 萩原村(X) 川島町(-) 岐南町(-) 笠松町(0.19) 海津町(-) 平田町(-) 南濃町(-) 養老町(X) 輪之内町(-) 安八町(-) 墨俣町(X) 北方町(-) 巢南町(-) 真正村(-) 三輪村(-) 坂祝村(-) 富加村(-) 御嵩町(-) 可児町(-) 笠原町(-)
		三重	桑名市(0.19) 多度町(-) 長島町(-) 木曾岬村(-) 員弁町(-) 大安町(-) 東員村(-) 石加村(-) 朝日町(-) 川越村(-)
0.40-0.79	2	愛知	豊橋市(0.70) 岡崎市(0.46) 春日井市(0.43) 豊明町(0.62) 西枇杷島町(0.51) 扶桑町(0.65) 東浦町(0.40) 上野町(0.68) 横須賀町(0.51) 知多町(0.62) 武豊町(0.38) 知立町(0.42)
		岐阜	関市(0.62) 鷺巣加茂市(0.52) 柳津町(0.68)
		三重	四日市市(0.41) 北勢町(0.54)
0.80-1.20	3	愛知	豊川市(1.19) 鳴海町(1.00) 西春村(1.14) 甚目寺町(0.87)
		岐阜	岐阜市(0.97)
		三重	桶町(0.89)
1.21-1.60	4	愛知	名古屋市(1.30) 守山市(1.51) 大高町(1.38)
1.61-2.00	5		なし
2.01以上		愛知	有松町(3.38)
		岐阜	穂積町(2.70)

運輸通信業（J）

区分	階級	県	所属市町村（カッコ内はL・Q値，Xは小教，一皆無を示す）
0.00-0.39	1	愛知	常滑市(0.25) 江南市(0.25) 尾西市(0.05) 豊明町(0.26) 東郷村(0.19) 旭町(0.26) 北里村(X) 師勝村(-) 春日村(-) 清洲町(0.29) 大口村(0.07) 扶桑町(0.31) 木曾川町(0.29) 祖父江町(0.27) 平和町(0.25) 七宝町(0.33) 甚目寺町(X) 大治村(X) 飛島村(X) 佐屋町(0.14) 立田村(X) 佐織町(0.05) 阿久比町(0.11) 東浦町(0.21) 大府町(0.39) 上野町(0.36) 桜井町(0.22) 六ツ美町(0.37) 上郷村(0.24) 松平村(0.17)
		岐阜	稲牙町(0.05) 蘇原町(0.07) 川島町(X) 岐南町(X) 柳津町(0.13) 南濃町(0.26) 養老町(0.34) 輪之内村(0.39) 羽島市(0.26) 土岐市(0.28) 安八町(0.18) 穂積町(0.37) 真正村(0.19) 坂祝村(0.25) 御嵩町(0.24) 笠原町(0.13)
		三重	木曾岬村(X) 大安町(0.39) 石加村(0.20) 楠町(0.22) 朝日町(0.06)
0.40-0.79	2	愛知	豊橋市(0.79) 岡崎市(0.67) 一宮市(0.45) 瀬戸市(0.50) 半田市(0.77) 春日井市(0.64) 豊川市(0.79) 津島市(0.46) 碧南市(0.46) 刈谷市(0.76) 安城市(0.43) 西尾市(0.55) 蒲郡市(0.63) 守山市(0.55) 小牧市(0.67) 日進町(0.42) 長久手村(0.59) 西春村(0.74) 美和町(0.78) 蟹江町(0.54) 十四山村(0.73) 彌富町(0.57) 八開村(0.48) 有松町(0.78) 大高町(0.54) 知多町(0.51) 武豊町(0.51) 高浜町(0.56) 知立町(0.59) 三好町(0.48) 小原村(0.41) 猿投町(0.75)
		岐阜	岐阜市(0.71) 多治見市(0.72) 関市(0.40) 那加町(0.78) 笠松町(0.40) 平田町(0.45) 墨俣町(0.70) 北方町(0.56) 巢南村(0.54) 三輪村(0.58) 富加村(0.75)
		三重	桑名市(0.54) 多度町(0.43) 員弁町(0.79) 川越村(0.42)
0.80-1.20	3	愛知	名古屋市(1.03) 豊田市(0.94) 新城市(1.09) 鳴海町(1.12) 西枇杷島町(0.84) 豊山村(1.18) 新川町(1.08) 岩倉町(1.04) 横須賀町(1.05) 藤岡村(0.90) 高岡町(1.13)
		岐阜	大垣市(0.91) 鸛沼町(1.13) 海津町(0.80)
		三重	四日市市(0.99) 長島町(0.84) 北勢町(1.09) 東員村(0.91)
1.21-1.60	4	愛知	犬山市(1.30)
		岐阜	可児町(1.46)
1.61-2.00	5		なし
2.00以上		愛知	稲沢市(2.56)
		岐阜	美濃加茂市(2.17)

電気・ガス・水道業 (K)

区分	階級	県	所属 市 町 村 (カッコ内はL・Q・値, Xは小数, -は皆無を示す)
000-039	1	愛知	岩手市(0.18) 安城市(0.27) 蒲郡市(0.26) 常滑市(0.18) 守山市(0.22) 江南市(0.18) 尾西市(0.12) 稲沢市(0.20) 豊明町(X) 東郷村(X) 長久手村(X) 旭町(0.06) 西枇杷島町(X) 師勝村(X) 春日村(-) 清洲町(-) 新川町(X) 大口村(-) 扶桑町(X) 木曾川町(-) 祖父江町(0.17) 平和町(X) 七宝町(-) 美和町(-) 甚目寺町(-) 大治村(-) 十四山村(-) 飛騨村(-) 瀬富町(0.13) 佐屋町(-) 立田村(-) 八開村(-) 佐給町(-) 阿久比町(-) 東浦町(-) 有松町(-) 上野町(0.12) 知多町(0.22) 武豊町(0.10) 高浜町(0.17) 上郷村(0.13) 知立町(0.09) 三好町(X) 藤岡村(X) 松平村(0.21) 高岡町(X)
		岐阜	羽島市(X) 土岐市(0.22) 稲羽町(-) 鼎沼町(X) 新原町(X) 川島町(0.13) 岐南町(X) 柳津町(-) 海津町(-) 平田町(X) 南濃町(-) 養老町(X) 輪之内村(-) 安八町(-) 墨俣町(0.27) 穂積町(-) 巢南村(-) 真正村(X) 三津村(-) 坂祝村(-) 富加村(X) 御嵩町(0.23) 笠原町(X)
		三重	多岐町(-) 長島町(X) 木曾岬村(-) 北勢町(X) 員弁町(X) 大安町(-) 東員村(X) 桶狭間(X) 朝日町(0.13) 川越村(X)
040-079	2	愛知	一宮市(0.61) 瀬戸市(0.43) 豊川市(0.51) 豊田市(0.71) 西尾市(0.49) 小牧市(0.57) 鳴海町(0.65) 豊山村(0.72) 西春村(0.51) 蟹江町(0.72) 横須賀町(0.65) 板井町(0.67) 六ツ美町(0.77) 猿投町(0.73)
		岐阜	大垣市(0.61) 那加町(0.45) 笠松町(0.60)
		三重	桑名市(0.63)
0.30-1.20	3	愛知	豊橋市(1.02) 津島市(1.11) 刈谷市(0.82) 犬山市(1.20)
		岐阜	岐阜市(1.09) 多治見市(1.16) 美濃加茂市(1.20) 可児町(0.81)
		三重	四日市市(1.04)
1.21-1.60	4	愛知	名古屋市(1.31) 半田市(1.59) 春日井町(1.44) 大高町(1.45)
1.61-2.00	5	愛知	岡崎市(1.73) 新城市(1.83) 北里村(1.68) 大府町(1.94)
		岐阜	関市(1.99)
		三重	石加村(1.83)
2.01以上	6	愛知	日進町(9.56) 岩倉町(4.26) 小原村(4.05)
		岐阜	北方町(3.31)

サービス業 (L)

区分	階級	県	所属市町村 (カッコ内はL・Q・値, Xは小数, -は皆無を示す)
000-039	1	愛知	尾西市(026) 西枇杷島町(034) 新川町(027) 木曾川町(034) 佐織町(027) 東浦町(038)
		岐阜	川島町(026) 柳津町(031) 坂祝町(035) 笠原町(022)
		三重	桶町(028) 朝日町(012)
040-079	2	愛知	名古屋市(071) 一宮市(042) 瀬戸市(047) 半田市(067) 津島市(054) 碧南市(063) 刈谷市(041) 豊田市(050) 西尾市(067) 蒲郡市(071) 常滑市(061) 江南市(070) 稲沢市(064) 旭町(050) 豊田村(057) 御勝村(050) 春日村(067) 清洲町(075) 大口村(049) 扶桑町(079) 岩倉町(063) 祖父江町(057) 平和町(047) 甚目寺町(072) 渡江町(065) 飛島村(040) 佐青瀬町(049) 阿久比町(046) 大高町(070) 上野町(062) 武豊町(063) 高浜町(060) 桜井町(069) 知立町(078) 松平村(047)
		岐阜	大垣市(067) 多治見市(062) 関市(079) 羽島市(063) 土岐市(049) 稲尋町(050) 蘇原町(042) 笠松町(085) 徳兵衛町(078)
		三重	四日市市(059) 桑名市(055) 木曾岬村(050) 川起村(058)
080-120	3	愛知	豊橋市(087) 岡崎市(081) 春日井市(080) 豊川市(118) 安城市(091) 犬山市(094) 守山市(108) 鳴海町(111) 西春村(108) 大治村(105) 瀬高町(090) 立田村(081) 大原町(083) 横須賀町(097) 知多町(080) 藤岡村(084)
		岐阜	岐阜市(088) 津原町(083) 岐南町(085) 南濃町(097) 御嵩町(089) 可児町(090)
		三重	多度町(108)
121-160	4	愛知	小牧市(144) 豊明町(152) 日進町(144) 美和町(126) 有松町(135) 六ツ美町(157) 上郷村(130) 三好町(160) 猿投町(123)
		岐阜	美濃加茂市(128) 平田町(130) 養老町(144) 墨俣町(146) 北万町(131)
		三重	北勢町(154) 員弁町(156) 大安町(139)
161-200	5	愛知	新城市(163) 長久手村(196) 七宝町(177) 十四山村(163) 小原村(139) 高岡町(174)
		岐阜	富加村(182)
		三重	長島町(191) 石加村(169)
2.00以上	6	愛知	東郷町(2.07) 北里村(2.11) 八幡村(2.41)
		岐阜	羽加町(2.32) 海津町(2.14) 輪之内村(3.15) 安八町(2.23) 栗南村(2.19) 真正村(2.36) 三輪村(2.32)
		三重	東員村(2.26)